

令和5年度

事務事業評価シート（消防本部）

- ・ 消防総務課 1頁～ 9頁
- ・ 警防課 10頁～ 15頁
- ・ 予防課 16頁
- ・ 消防署 17頁～ 20頁

菊川市

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業																																																																																																													
R5	事業名	常備消防施設管理事業																																																																																																																	
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																																																																																																	
	政策	3 消防力を高めるまちづくり																																																																																																																	
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります																																																																																																																	
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、常備消防施設管理事業により、消防庁舎の適切な維持管理を行うとともに、各種災害に対する的確な対応が可能な環境を整備する。		事業の概要 浄化槽等の施設管理業務の発注を行い消防庁舎の適切な維持管理を行うとともに、建物の長寿命化に向け検討していく。																																																																																																															
事業コスト分析	事業成果	①②③④消防庁舎等の設備保守管理、環境衛生管理、日常・定期清掃、機器運転監視等の総合管理業務を適正に行うとともに、必要な修繕等を行い、庁舎の健全性を保つことができた。																																																																																																																	
	事業課題	消防庁舎建設から10年が経過しており、経年劣化等により修繕を行う必要のある箇所が増えてきていることから、適切な修繕を実施するとともに、計画的な予防修繕と設備更新を進める必要がある。																																																																																																																	
	各評価結果	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト評価</th> <th>指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>成果</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>評価視点</td> <td>評価内容</td> </tr> <tr> <td>113.1%</td> <td>D</td> <td>2</td> <td></td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>効率</td> <td>1</td> <td>D</td> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> </tr> <tr> <td>72.3%</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> </tr> </table>				事業コスト評価	指標評価	事業内容評価		一般財源	成果	1	B	評価視点	評価内容	113.1%	D	2		効率性	4:高い	総事業コスト	効率	1	D	有効性	4:高い	72.3%	A			必要性	4:高い	総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討																																																																																	
	事業コスト評価	指標評価	事業内容評価																																																																																																																
	一般財源	成果	1	B	評価視点	評価内容																																																																																																													
	113.1%	D	2		効率性	4:高い																																																																																																													
	総事業コスト	効率	1	D	有効性	4:高い																																																																																																													
	72.3%	A			必要性	4:高い																																																																																																													
	事業分析・総合判定評価	<table border="1"> <tr> <th>事業コスト</th> <th>削減</th> <th>成果</th> <th>維持</th> </tr> <tr> <td>R7年度の方向性</td> <td>コスト</td> <td>縮小↓</td> <td>維持→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改善</td> <td colspan="2">①事業の進め方</td> </tr> </table>				事業コスト	削減	成果	維持	R7年度の方向性	コスト	縮小↓	維持→		改善	①事業の進め方		R7年度の方向性																																																																																																	
	事業コスト	削減	成果	維持																																																																																																															
R7年度の方向性	コスト	縮小↓	維持→																																																																																																																
	改善	①事業の進め方																																																																																																																	
担当評価	計画的に実施した修繕の他、緊急修繕を実施し庁舎の健全性を保ち、加えて照明のLED化と職員の節電意識を高めたことにより、電気使用量を前年より削減することができた。																																																																																																																		
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 修繕計画書の見直しを随時行い、計画的な修繕を進める。																																																																																																																		
CHECK評価	予算	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>500000</td> <td>常備消防施設管理費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R4年度</td> <td colspan="2">R5年度</td> <td>前年増減</td> </tr> <tr> <td colspan="2">31,848,000</td> <td colspan="2">22,323,000</td> <td>△ 9,525,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比</td> <td colspan="2">70.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">R4年度</td> <td colspan="2">R5年度</td> <td>前年増減</td> </tr> <tr> <td colspan="2">31,848,000</td> <td colspan="2">22,323,000</td> <td>△ 9,525,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比</td> <td colspan="2">70.1%</td> <td></td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	9	1	1	500000	常備消防施設管理費	R4年度		R5年度		前年増減	31,848,000		22,323,000		△ 9,525,000	前年比		70.1%			R4年度		R5年度		前年増減	31,848,000		22,323,000		△ 9,525,000	前年比		70.1%																																																																							
	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																														
	9	1	1	500000	常備消防施設管理費																																																																																																														
	R4年度		R5年度		前年増減																																																																																																														
	31,848,000		22,323,000		△ 9,525,000																																																																																																														
	前年比		70.1%																																																																																																																
	R4年度		R5年度		前年増減																																																																																																														
	31,848,000		22,323,000		△ 9,525,000																																																																																																														
	前年比		70.1%																																																																																																																
	決算	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th colspan="2">事業費内訳</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>14,792,000</td> <td>31,848,000</td> <td>22,323,000</td> <td>節</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>14,263,740</td> <td>31,175,589</td> <td>22,077,814</td> <td>01 報酬</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不用額</td> <td>528,260</td> <td>672,411</td> <td>245,186</td> <td>02 給料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td>96.4%</td> <td>97.9%</td> <td>98.9%</td> <td>03 職員手当等</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>466,299</td> <td>9,420,643</td> <td>0</td> <td>04 共済費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>05 災害補償費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>5,400,000</td> <td>3,600,000</td> <td>06 恩給及び退職年金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>390,581</td> <td>330,260</td> <td>347,444</td> <td>07 報償費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>13,406,860</td> <td>16,024,686</td> <td>18,130,370</td> <td>08 旅費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>91.7%</td> <td>B</td> <td>119.5%</td> <td>D</td> <td>113.1%</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>308,000</td> <td>701,000</td> <td>975,000</td> <td>09 交際費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>14,571,740</td> <td>31,876,589</td> <td>23,052,814</td> <td>10 需用費</td> <td>7,458,870</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>89.4%</td> <td>A</td> <td>218.8%</td> <td>D</td> <td>72.3%</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>主財源</td> <td colspan="2">脱炭素化推進事業債</td> <td>3,600,000</td> <td>13 使用料及び賃借料</td> <td>67,980</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">自販機設置手数料</td> <td>289,786</td> <td>14 工事請負費</td> <td>4,367,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">電気料等使用者負担金他</td> <td>57,658</td> <td>15 原材料費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>合計</td> <td>22,077,814</td> </tr> </table>					項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳		予算額	14,792,000	31,848,000	22,323,000	節	決算額	決算額	14,263,740	31,175,589	22,077,814	01 報酬	0	不用額	528,260	672,411	245,186	02 給料	0	執行率	96.4%	97.9%	98.9%	03 職員手当等	0	国庫支出金	466,299	9,420,643	0	04 共済費	0	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	地方債	0	5,400,000	3,600,000	06 恩給及び退職年金	0	その他	390,581	330,260	347,444	07 報償費	0	一般財源	13,406,860	16,024,686	18,130,370	08 旅費	0	前年比較	91.7%	B	119.5%	D	113.1%	D	職員人件費	308,000	701,000	975,000	09 交際費	0	総事業コスト	14,571,740	31,876,589	23,052,814	10 需用費	7,458,870	前年比較	89.4%	A	218.8%	D	72.3%	A	主財源	脱炭素化推進事業債		3,600,000	13 使用料及び賃借料	67,980		自販機設置手数料		289,786	14 工事請負費	4,367,000		電気料等使用者負担金他		57,658	15 原材料費	0					合計
項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳																																																																																																															
予算額	14,792,000	31,848,000	22,323,000	節	決算額																																																																																																														
決算額	14,263,740	31,175,589	22,077,814	01 報酬	0																																																																																																														
不用額	528,260	672,411	245,186	02 給料	0																																																																																																														
執行率	96.4%	97.9%	98.9%	03 職員手当等	0																																																																																																														
国庫支出金	466,299	9,420,643	0	04 共済費	0																																																																																																														
県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0																																																																																																														
地方債	0	5,400,000	3,600,000	06 恩給及び退職年金	0																																																																																																														
その他	390,581	330,260	347,444	07 報償費	0																																																																																																														
一般財源	13,406,860	16,024,686	18,130,370	08 旅費	0																																																																																																														
前年比較	91.7%	B	119.5%	D	113.1%	D																																																																																																													
職員人件費	308,000	701,000	975,000	09 交際費	0																																																																																																														
総事業コスト	14,571,740	31,876,589	23,052,814	10 需用費	7,458,870																																																																																																														
前年比較	89.4%	A	218.8%	D	72.3%	A																																																																																																													
主財源	脱炭素化推進事業債		3,600,000	13 使用料及び賃借料	67,980																																																																																																														
	自販機設置手数料		289,786	14 工事請負費	4,367,000																																																																																																														
	電気料等使用者負担金他		57,658	15 原材料費	0																																																																																																														
				合計	22,077,814																																																																																																														
コスト分析	<p>総事業コストは前年に比べ減額となった。 主に、2か年にかけて実施した庁舎照明LED化工事の工事請負費(令和4年度14,617千円)の減に伴うものである。</p>																																																																																																																		
指標評価	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R5年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>上半期に工事及び備品の発注を行う</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> <td>B</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>光熱水費の削減</td> <td>千円</td> <td>3,900.0</td> <td>3,600.0</td> <td>4,028.0</td> <td>2,913.0</td> <td>3,600.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>7</td> <td>138.3%</td> <td>S</td> <td>70.0%</td> </tr> </table>					事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	上半期に工事及び備品の発注を行う	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				1	7	100.0%	B	100.0%	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0	0				効率1	光熱水費の削減	千円	3,900.0	3,600.0	4,028.0	2,913.0	3,600.0				1	7	138.3%	S	70.0%																																														
事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度																																																																																																													
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																												
成果1	上半期に工事及び備品の発注を行う	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																																																																																												
			1	7	100.0%	B	100.0%																																																																																																												
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																												
			0	0																																																																																																															
効率1	光熱水費の削減	千円	3,900.0	3,600.0	4,028.0	2,913.0	3,600.0																																																																																																												
			1	7	138.3%	S	70.0%																																																																																																												
事業実施内容	<p>①消防庁舎の総合管理業務委託 ②浄化槽の法定検査 ③自動ドアのセンサー等の修繕 ④消防庁舎照明LED化工事</p>																																																																																																																		
実行計画事業	<table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>500000</td> <td>常備消防施設管理費</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="2">18,062,000</td> <td>△ 4,261,000</td> <td>80.9%</td> <td>国庫支出金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>県支出金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>地方債 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>その他 328,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>一般財源 17,734,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計画額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="2">38,457,000</td> <td>20,395,000</td> <td>212.9%</td> <td>国庫支出金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>県支出金 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>地方債 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>その他 372,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>一般財源 38,085,000</td> </tr> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	9	1	1	500000	常備消防施設管理費	予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	18,062,000		△ 4,261,000	80.9%	国庫支出金 0					県支出金 0					地方債 0					その他 328,000					一般財源 17,734,000	計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	38,457,000		20,395,000	212.9%	国庫支出金 0					県支出金 0					地方債 0					その他 372,000					一般財源 38,085,000																																								
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																															
9	1	1	500000	常備消防施設管理費																																																																																																															
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳																																																																																																															
18,062,000		△ 4,261,000	80.9%	国庫支出金 0																																																																																																															
				県支出金 0																																																																																																															
				地方債 0																																																																																																															
				その他 328,000																																																																																																															
				一般財源 17,734,000																																																																																																															
計画額		前年増減額	前年比	財源内訳																																																																																																															
38,457,000		20,395,000	212.9%	国庫支出金 0																																																																																																															
				県支出金 0																																																																																																															
				地方債 0																																																																																																															
				その他 372,000																																																																																																															
				一般財源 38,085,000																																																																																																															
実施内容	<p>・消防庁舎の総合管理業務委託 ・浄化槽の保守点検 ・消防庁舎の修繕</p>																																																																																																																		
実施内容	<p>・消防庁舎の屋上防水修繕が計画されているため増額している。 令和6年度と同額程度となる見込みである。</p>																																																																																																																		
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	<p>市民を災害から守るという使命の下に、常に万全な体制を維持していくことが大切であることから、活動拠点となる消防庁舎の維持管理は継続する必要がある。</p>																																																																																																																		

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業						
R5	事業名	常備消防総務事業										
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち										
	政策	3 消防力を高めるまちづくり										
	施策	2 消防技術の向上を目指します										
体系的・概要	事業の目的	消防技術を向上させるため、常備消防総務事業により、静岡県消防学校等への職員派遣や各種研修等の受講を実施し、専門知識や技術力を高め、消防力の強化を図る。				教育や各種研修等の受講により、職員一人一人のレベルアップに取り組む。						
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称						
	9	1	1	700000	常備消防総務費							
	R4年度		R5年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,074,000		13,490,000		△ 1,584,000	89.5%		0	0	0	219,000	13,271,000
CHECK評価	決算(円)	項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳						
		予算額	14,373,000	15,074,000	13,490,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	13,759,596	14,144,191	12,738,198	01 報酬	2,122,031	16 公有財産購入費	0			
		不用額	613,404	929,809	751,802	02 給料	0	17 備品購入費	2,019,545			
		執行率	95.7%	93.8%	94.4%	03 職員手当等	344,452	18 負担金、補助及び交付金	3,807,939			
		国庫支出金	0	1,709,070	0	04 共済費	0	19 扶助費	0			
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0			
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0			
		その他	1,145	831,475	210,982	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0			
		一般財源	13,758,451	11,603,646	12,527,216	08 旅費	528,250	23 投資及び出資金	0			
		前年比較	110.3% D	84.3% A	108.0% D	09 交際費	0	24 積立金	0			
		職員人件費	2,256,000	2,876,000	3,234,000	10 需用費	1,001,807	25 寄附金	0			
		総事業コスト	16,015,596	17,020,191	15,972,198	11 役務費	210,943	26 公課費	0			
前年比較	128.4% D	106.3% D	93.8% B	12 委託料	150,370	27 繰出金	0					
主財源	県市町村振興協会市町村交付金【消防本部】		209,450		13 使用料及び賃借料	2,552,861	予備費	0				
	行政資料コピー・印刷代【消防本部】		830		14 工事請負費	0						
	全国消防協会保険事務取扱手数料		702		15 原材料費	0	合計	12,738,198				
コスト分析 総事業コストは、前年度に比べ減額となった。 主に職員貸与品が年度内に納品ができなくなったことによる備品購入費の減に伴うものである。												
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R3年度		R4年度		R5年度		
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
				年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	
		成果1	救急救命士数	人	21.0	0.0	23.0	23.0	24.0	24.0	25.0	25.0
					1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			0	0								
効率1	救急救命士資格者の採用	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			1	7								
①静岡県消防学校や救急救命東京研修所等への職員派遣 ②職員貸与品の購入												
CHECK評価	実執行計画事業(円)	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性										
		救急業務全般の質を向上させるため、指導救命士の資格取得に係る職員派遣を追加する。 災害現場において、職員の安全管理を徹底する為に貸与品の更新について検討を進めていく。										
		款	項	目	事業番号	事業名称						
		9	1	1	700000	常備消防総務費						
R6年度	実施内容	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		16,511,000	3,021,000	122.4%		0	0	0	2,000	16,509,000		
R7年度	実施内容	静岡県消防学校や救急救命東京研修所等(救急救命士、指導救命士)への職員派遣 職員貸与品の購入		下期実施内容変更見込み								
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		17,989,000	1,478,000	109.0%		0	0	0	2,000	17,987,000		
R8年度	実施内容	静岡県消防学校や救急救命東京研修所等(救急救命士)への職員派遣 職員貸与品の購入		R6年度比較増減要因 防火衣の更新が計画されていることが増額要因である。 令和7年度と同額程度となる見込みである。								
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 市民を災害から守るという使命のため、救急業務に必要な救急技術の習得をはじめ、職員の知識・技術の向上や安全確保には必要な業務である。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業	○										
R5	事業名	消防団運営事業															
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち						事業成果									
	政策	3 消防力を高めるまちづくり							事業課題								
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります															
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防団運営事業により、消防団活動に対する手当の支給や研修による団員の技術や知識の向上に取り組むことで、消防団活動の円滑化と体制強化を図り、地域防災力を強化する。		事業の概要													
事業の概要			手当等の支給により、消防団活動の円滑化を図るとともに、各種研修等を受講して消防団員の技術や知識の向上に取り組む。														
事業コスト分析	予算	款	項	目	事業番号	事業名称		C H E C K 評価									
		9	1	2	200000	消防団運営費											
		R4年度	R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金		県支出金	地方債	その他	一般財源					
		34,328,000	28,979,000	△ 5,349,000	84.4%		0		325,000	0	9,018,000	19,636,000					
		項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳											
		予算額	33,955,000	34,328,000	28,979,000	節	決算額		節	決算額							
		決算額	31,904,410	32,365,363	23,805,053	01	報酬		0	16	公有財産購入費	0					
		不用額	2,050,590	1,962,637	5,173,947	02	給料		0	17	備品購入費	0					
		執行率	94.0%	94.3%	82.1%	03	職員手当等		0	18	負担金、補助及び交付金	16,009,541					
		財源内訳	国庫支出金	40,000	1,604,680	0	04		共済費	0	19	扶助費	0				
		県支出金	81,000	41,000	325,000	05	災害補償費	0	20	貸付金	0						
		地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0						
		その他	8,836,513	8,519,830	4,985,200	07	報償費	6,022,171	22	償還金、料子及び割引料	0						
		一般財源	22,946,897	22,199,853	18,494,853	08	旅費	418,040	23	投資及び出資金	0						
		前年比較	93.2%	B	96.7%	B	83.3%	A	09	交際費	15,000						
		職員人件費	2,863,000	2,672,000	2,151,000	10	需用費	1,334,271	25	寄附金	0						
		総事業コスト	34,767,410	35,037,363	25,956,053	11	役務費	0	26	公課費	0						
		前年比較	104.3%	D	100.8%	D	74.1%	A	12	委託料	0						
	主財源	消防団員退職報償金			4,972,000	13	使用料及び賃借料	6,030		予備費	0						
		地震・津波対策等減災交付金			325,000	14	工事請負費	0									
		消防団福祉共済事務費			13,200	15	原材料費	0	合計	23,805,053							
	コスト分析	総事業コストは前年に比べ減額となった。主に、職員手当等(訓練手当、出勤手当、車両管理手当)及び報償費(退団)を事業間移動したことに伴うものである。また、菊川市消防団員準中型自動車免許取得費補助金制度制定により、負担金、補助及び交付金は増額となった。															
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度									
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値						
		成果1	地区自治会への団員確保協力依頼回数	回	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0						
					1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%						
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
					0	0											
		効率1	連合自治会役員への事前説明	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
					1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%						
			事業実施内容	①消防団員退職報償金の支出 ②消防団活動に必要な個人装備品の購入 ③消防団協力事業所の認定 ④消防団広報誌の発行 ⑤準中型自動車免許取得費補助金交付													
				事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 団員が活動しやすい環境づくりは消防団活動や団員確保のために必要不可欠であることから、一層の活動環境整備のために業務の継続は必要である。													
CHECK評価	実施内容	各評価結果															
		事業コスト評価					指標評価			事業内容評価		総合判定評価					
		一般財源		A	A	A	1	B	評価視点		評価内容		A	計画どおりに事業を進めることが 適当			
		83.3%							効率	1	B	有効性			4:高い	計画の進捗と成果に 近い状態⇔「計画通り」	現状維持
		総事業コスト															
		74.1%		コスト	維持→	成果	維持→	①事業の進め方									
				消防団協力事業所の認定を増やすとともに、手当(活動)の見直し及び免許取得補助金を交付し、団員として活動するメリットを拡充させるなど、団員確保に繋がる事業を推進した。													
				課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 消防団協力事業所及び消防団応援の店の推進を継続するとともに、消防団員としての更なるメリットや消防団に対する理解について研究するとともに、消防団活動に対する理解と共感を深めることで、団員確保に繋げる消防団員募集リーフレットを作成する。													
				款	項	目	事業番号	事業名称									
				9	1	2	200000	消防団運営費									
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
		29,045,000	66,000	100.2%		0	105,000	0	9,016,000	19,924,000							
		・退職報償金掛金、公務災害補償掛金及び福祉共済掛金の支出 ・消防団広報誌「ひまわり」の発行 ・負担金、運営費交付金の支払い ・研修等の費用弁償 ・個人装備品の購入 ・準中型免許取得補助 ・消防団員募集リーフレットの作成								下期実施内容変更見込み							
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
		29,815,000	770,000	102.7%		0	470,000	0	8,565,000	20,780,000							
		・退職報償金掛金、公務災害補償掛金及び福祉共済掛金の支出 ・消防団広報誌「ひまわり」の発行 ・負担金、運営費交付金の支払い ・研修等の費用弁償 ・個人装備品の購入 ・準中型免許取得補助								R6年度比較増減要因 消耗品(AED/パッド)の更新が予定されていることが増額要因である。							
		R7年度								R8年度増減見込み 令和6年度と同額程度である。							
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 団員が活動しやすい環境づくりは消防団活動や団員確保のために必要不可欠であることから、一層の活動環境整備のために業務の継続は必要である。															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業	○							
R5	事業名	消防団資機材整備事業												
総合計画	体系・概要	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち											
	政策	3 消防力を高めるまちづくり												
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります												
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防団資機材整備事業により、消防資機材及び団員個人の装備を充実し、消防団の災害活動強化及び現場での団員の安全を確保する。		事業の概要			防災資機材及び個人装備品を整備する。							
事業コスト分析	決算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称								
		9	1	2	400000	消防団資機材整備費								
		R4年度		R5年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		4,139,000		6,948,000		2,809,000	167.9%		0	2,089,000	0	374,000	4,485,000	
		項目		R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳							
		予算額		4,298,000	4,139,000	6,948,000	節	決算額	節	決算額				
		決算額		4,294,598	3,930,190	6,718,339	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0				
		不用額		3,402	208,810	229,661	02 給料	0	17 備品購入費	6,718,339				
		執行率		99.9%	95.0%	96.7%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0				
		国庫支出金		104,000	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0				
県支出金		1,219,000	1,028,000	2,089,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0						
地方債		0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0						
その他		0	228,853	291,000	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0						
一般財源		2,971,598	2,673,337	4,338,339	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0						
前年比較		64.7%	A	90.0%	A	162.3%	D	09 交際費	0	24 積立金	0	0		
職員人件費		418,000	495,000	388,000	10 需用費	0	25 寄附金	0						
総事業コスト		4,712,598	4,425,190	7,106,339	11 役務費	0	26 公課費	0						
前年比較		71.7%	A	93.9%	B	160.6%	D	12 委託料	0	27 繰出金	0	0		
主財源		地震・津波対策等減災交付金		2,089,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0						
消防団員等公務災害補償等共済基金助成金				291,000	14 工事請負費	0								
15 原材料費					0	合計		6,718,339						
コスト分析		総事業コストは前年に比べ増額となった。主に、可搬ポンプ購入などの備品購入費増に伴うものである。												
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
		成果1	分団及び団員個人に貸与する資機材の整備	%	0.0	0.0	95.0	95.0	達成率	評価	達成率	評価		
					1	7	100.0%	B	101.1%	B	0.0%	D		
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
					0	0								
		効率1	団員一人当たりの消防団資機材整備事業費	千円	0.0	0.0	15.0	15.0	12.0	13.0	24.0	0.0		
					1	7	100.0%	B	92.3%	B				
		事業実施内容		①分団へ配備する資機材の購入(更新) ②新入団員へ貸与する被服等の購入及び団員へ貸与する防火衣の購入(更新)										
		CHECK評価		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 資機材の適切な維持管理に努めるとともに、資機材取り扱いの習熟度を上げる研修、訓練を計画し実施していく。										
CHECK評価	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称								
		9	1	2	400000	消防団資機材整備費								
		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		4,485,000		△ 2,463,000	64.6%		0	1,250,000	0	146,000	3,089,000			
		R6年度		実施内容		R6年度比較増減要因								
		・分団へ配備する資機材(消火用ホース、投光器及び発電機等)の更新 ・新入団員に貸与する被服等の購入及び団員に貸与する防火衣を更新		下期実施内容変更見込み										
		計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		9,549,000		5,064,000	212.9%		0	2,210,000	0	0	7,339,000			
		R7年度		実施内容		R7年度比較増減要因								
		・分団へ配備する資機材(消火用ホース、投光器及び発電機等)の更新 ・新入団員に貸与する被服等の購入及び団員に貸与する防火衣を更新		可搬ポンプの更新整備を計画していることが増額要因である。										
		令和7年度と同額程度を見込んでいる。												
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明		資機材の整備は、団員の安全確保と災害対応力の強化を図る上で必要な事業である。												

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係		重点事業		
R5	事業名	消防団員報酬事業							
総合計画	体系・概要	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち						
		政策	3 消防力を高めるまちづくり						
		施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります						
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防団員報酬事業により、報酬の支払いを適正かつ確実にを行うことで、消防団員の身分を保障する。				事業の概要			
						階級(職階)に応じて年間報酬を全団員へ支払う。			
事業成果									
①消防団員への報酬を適正に支出した。									
事業課題									
年度当初に年額報酬を支出できるように、新入団員の口座情報を早期に把握する必要がある。									
CHECK評価									
事業分析・総合判定評価									
各評価結果									
総合判定評価									
B 事業の進め方の改善の検討									
R7年度の方向性									
コスト 縮小↓ 成果 維持→									
①事業の進め方									
LoGoフォームを活用し、年度当初に年額報酬を支出できた。									
担当評価									
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性									
消防団員及び事務局相互の負担を軽減するため、訓練報酬及び出勤報酬の申請もLoGoフォームを活用できるように検討していく。									
ACTION改善									
加える変化									
事業コスト分析									
決算(円)									
予算(円)									
決算(円)									
コスト分析									
事業実施内容									
指標・実施内容									
事業指標・評価									
R6年度									
R7年度									
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明									
消防団員の身分を保障するために、必要不可欠な事業である。									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業	○						
R5	事業名	非常備消防総務事業											
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち						事業成果					
	政策	3 消防力を高めるまちづくり							事業課題				
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります											
体系的概要	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、非常備消防総務事業により、各種研修会等への参加や検討会を通じて、消防団の活動環境整備に取り組む。				事業の概要		消防団役員の視察研修及び女性消防団員の研修への参加等により、消防団員の活動能力向上に取り組むとともに、消防団の活動環境整備について検討する。					
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称			CHECK評価				
		9	1	2	600000	非常備消防総務費							
		R4年度		R5年度		前年増減	前年比			財源内訳			
		81,000		139,000		58,000	171.6%			国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 139,000			
		項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳							
		予算額	84,000	81,000	139,000	節	決算額	節		決算額			
		決算額	49,150	66,000	123,120	01 報酬	0	16 公有財産購入費		0			
		不用額	34,850	15,000	15,880	02 給料	0	17 備品購入費		0			
		執行率	58.5%	81.5%	88.6%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金		12,000			
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0		19 扶助費	0		
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0				
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0				
		その他	0	0	0	07 報償費	66,000	22 償還金、料子及び割引料	0				
		一般財源	49,150	66,000	123,120	08 旅費	45,120	23 投資及び出資金	0				
		前年比較	204.8% D	134.3% D	186.5% D	09 交際費	0	24 積立金	0				
		職員人件費	95,000	707,000	1,419,000	10 需用費	0	25 寄附金	0				
		総事業コスト	144,150	773,000	1,542,120	11 役務費	0	26 公課費	0				
		前年比較	600.6% D	536.2% D	199.5% D	12 委託料	0	27 繰出金	0				
		主財源				13 使用料及び賃借料	0	予備費	0				
						14 工事請負費	0						
						15 原材料費	0	合計	123,120				
	コスト分析	総事業コストは前年に比べ増額となった。主に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行したことで、消防団活動が回復したことに伴い、旅費及び負担金、補助及び交付金の増に伴うものである。											
CHECK評価	事業指標・評価	事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度		ACTION改善			
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値		目標値	実績値	
		成果1	消防団活性化検討委員会開催回数	回	0.0	2.0	3.0	3.0	3.0		3.0	0.0	
					1	7	100.0%	B	100.0%		B	0.0%	
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	
					0	0							
		効率1	会議時間	時間	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		1.0	0.0	
					1	7	100.0%	B	100.0%		B		
		事業実施内容	①消防団活性化検討委員会の開催 ②女性消防団活性化大会への参加										
		実施内容	R6年度 ・消防団活性化検討委員会の開催 ・女性消防団活性化大会への参加 R6年度比較増減要因 女性消防団活性化大会の開催予定地が長崎(R6.栃木)であることが増額要因である。 R7年度 ・消防団活性化検討委員会の開催 ・女性消防団活性化大会への参加 R8年度増減見込み 女性消防団活性化大会の開催予定地が北海道であることが増額要因である。										
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	消防団が抱える課題を把握し、検討していく必要がある。											
CHECK評価	事業成果	①消防団活性化検討委員会を3回(6月、12月、3月)開催した。 ②女性消防団活性化石川大会へ参加した。(11月)						事業課題		消防団員を確保するため、活動しやすい環境整備を進めていく必要がある。			
	各評価結果	事業コスト評価						指標評価		事業内容評価			
	評価分析・総合判定評価	決算前年比	一般財源	186.5%	D	成果	1	D	評価視点	評価内容			
			総事業コスト	199.5%	D		2			効率性	4:高い	A	現状維持
							1			有効性	4:高い		計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」
		総合判定評価	C 事業規模・内容・主体の見直し検討						R7年度の方向性				
			コスト	縮小↓	成果	拡充↑	①事業の進め方						
		担当評価	年間を通じた消防団員勧誘活動を実施したことにより、途中入団者を7名確保した。										
		加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 団員のメリット・魅力を増やすための検討を続け、団員確保に繋げていく。										
	CHECK評価	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称				PLAN取り組み・DO実施		
		9	1	2	600000	非常備消防総務費							
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		142,000	3,000	102.2%		0	0	0	0	142,000			
		実施内容	・消防団活性化検討委員会の開催 ・女性消防団活性化大会への参加							下期実施内容変更見込み			
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		209,000	67,000	147.2%		0	0	0	0	209,000			
		実施内容	・消防団活性化検討委員会の開催 ・女性消防団活性化大会への参加							R6年度比較増減要因 女性消防団活性化大会の開催予定地が北海道であることが増額要因である。			
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	消防団が抱える課題を把握し、検討していく必要がある。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業						
R5	事業名	消防施設等管理事業										
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち										
	政策	3 消防力を高めるまちづくり										
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります										
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防施設等管理事業により、災害時活動拠点となる消防団蔵置所の適切な維持管理を行う。		事業の概要 消防団蔵置所の長寿命化に向け維持管理を行うとともに、整備方針について検討する。								
事業コスト分析	事業成果	①消防団蔵置所の必要な修繕を実施するとともに、消防団蔵置所を適切に維持管理し活動環境の整備を図ることができた。 ②小笠北分団嶺田蔵置所建設予定地の測量調査を実施した。										
	事業課題	・老朽化による消防団蔵置所の計画的修繕等長寿命化について検討していく必要がある。										
	各評価結果	事業コスト評価				総合判定評価						
	評価分析・総合判定評価	事業内容評価	指標評価	1 B		B 事業の進め方の改善の検討						
			事業内容評価	評価視点								
			評価内容	A 現状維持								
	事業コスト評価	一般財源	104.9%	D	成果	1 2	効率性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」	R7年度の方向性		
	総事業コスト	95.8%	B	効率	1	有効性	4:高い	必要性	4:高い	コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方		
	担当評価	消防団蔵置所を適切に維持管理できた。										
	CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 ・計画的な消防団蔵置所の修繕を実施するとともに、長寿命化計画書を作成する。 ・小笠北分団嶺田蔵置所及び小笠東分団川上蔵置所の建て替えを計画通り進めていく									
実行計画事業		款	項	目	事業番号	事業名称						
		9	1	2	300000	消防施設等管理費						
		R4年度		R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		3,781,000		3,966,000	185,000	104.9%		0	0	0	2,000	3,964,000
		項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳						
		予算額	2,439,000	3,781,000	3,966,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	2,137,247	3,540,014	3,361,151	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	301,753	240,986	604,849	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	87.6%	93.6%	84.7%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	10,400			
	財源内訳	国庫支出金	0	330,000	0	04 共済費	0	19 扶助費	0			
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0				
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0				
	その他	0	7,530	2,510	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0				
	一般財源	2,137,247	3,202,484	3,358,641	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0				
	前年比較	57.3%	A	149.8%	D	104.9%	D	09 交際費	0	24 積立金	0	
	職員人件費	181,000	138,000	163,000	10 需用費	1,352,038	25 寄附金	0				
	総事業コスト	2,318,247	3,678,014	3,524,151	11 役務費	1,643,406	26 公課費	0				
	前年比較	62.2%	A	158.7%	D	95.8%	B	12 委託料	252,288	27 繰出金	0	
	主財源	水道使用者負担金		2,510	13 使用料及び賃借料	103,019	予備費	0				
					14 工事請負費	0						
					15 原材料費	0	合計	3,361,151				
	コスト分析	総事業コストは前年に比べ減額となった。 主に、消防団蔵置所防犯灯設置が令和4年度に完了したことによる工事請負費の減に伴うものである。 また、小笠北分団嶺田蔵置所建設予定地用途境界確定測量業務実施により役務費は増となった。										
指標・実施内容	事業指標・評価	指標名		単位	現状値	目標値	R3年度	R4年度	R5年度			
		年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価			
	成果1	消防団蔵置所等の維持管理数	箇所	16.0	0.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	
				1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B	
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
				0	0							
	効率1	蔵置所1ヶ所当たりの消防施設等管理事業費	千円	124.0	0.0	143.0	104.0	143.0	154.0	143.0	0.0	
				1	7	137.5%	S	92.9%	B			
		事業実施内容	①消防団蔵置所の維持管理(光熱水費の支出、浄化槽の点検委託、火災保険等の契約、修繕) ②小笠北分団嶺田蔵置所建設予定地の測量調査									
		実施内容	R6年度		R7年度							
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		59,130,000	47,018,000	488.2%		0	0	40,100,000	0	19,030,000		
		R6年度比較増減要因		R8年度増減見込み								
		消防団蔵置所の建設及び機能別消防団車庫の移設が計画されていることが増額要因である。		令和7年度と同額程度となる見込みである。								
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 消防団の活動拠点であることから、今後も適切な管理が必要である。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業			
R5	事業名	消防自動車等管理事業							
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち							
	政策	3 消防力を高めるまちづくり							
	施策	3 消防団の防災力の維持・向上を図ります							
	事業の目的	消防団の防災力の維持・向上を図るため、消防自動車等管理事業により、消防団車両の適切な維持管理を行う。		事業の概要 車両の維持管理とともに、整備方針を検討する。					
事業成果	①消防団公用車を適切に維持管理し、災害に迅速、確実な対応ができる体制を確保した。								
	今後も消防団公用車を適切な状態に保ち、常に災害出動に備える必要がある。								
各評価結果						総合判定評価			
事業分析・総合判定評価	事業コスト評価	指標評価			事業内容評価				
	一般財源	183.9%	D	成果	1 E	評価視点			
	総事業コスト	178.5%	D	効率	1	評価内容			
事業規模・内容・主体の見直し検討	C								
R7年度の方向性									
コスト改善		縮小↓		成果拡充↑					
①事業の進め方									
複雑多様化する災害出動に備え、消防団公用車を常時万全な状態に管理できた。									
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性									
消防団公用車の法定点検だけでなく、日常点検も含めた適切な維持管理を徹底する。									
予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称				
	9	1	2	500000	消防自動車等管理費				
	R4年度		R5年度		前年増減	前年比			
	3,089,000		5,134,000		2,045,000	166.2%			
	R4年度		R5年度	前年増減	前年比	財源内訳			
	3,089,000		5,134,000	2,045,000	166.2%	国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 5,134,000			
事業コスト分析	項目		R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳			
	予算額	3,613,000	3,089,000	5,134,000	節	決算額	節		
	決算額	3,085,699	2,646,664	4,868,451	01 報酬	0	16 公有財産購入費		
	不用額	527,301	442,336	265,549	02 給料	0	17 備品購入費		
	執行率	85.4%	85.7%	94.8%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金		
	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費		
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金		
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金		
	その他	289,000	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料		
	一般財源	2,796,699	2,646,664	4,868,451	08 旅費	0	23 投資及び出資金		
	前年比較	111.1%	D	94.6%	B	183.9%	D		
	職員人件費	326,000	131,000	90,000	10 需用費	2,770,919	25 寄附金		
	総事業コスト	3,411,699	2,777,664	4,958,451	11 役務費	467,732	26 公課費		
	前年比較	135.6%	D	81.4%	A	178.5%	D		
主財源				12 委託料	1,152,000	27 繰出金			
				13 使用料及び賃借料	0	予備費			
				14 工事請負費	0				
				15 原材料費	0	合計			
						4,868,451			
コスト分析 総事業コストは前年に比べ増額となった。主に、車両修繕増による需用費の増及び事業間移動による委託料(消防団ポンプ自動車管理委託)の増に伴うものである。									
指標・実施内容	事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度		
	指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	
	成果1	法定点検の実施回台数	台	18.0	0.0	19.0	19.0	19.0	
				1	7	100.0%	B	100.0%	
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				0	0				
	効率1	燃料費	千円	487.0	0.0	688.0	190.0	727.0	
				1	7	362.1%	S	223.7%	
	①消防団公用車の維持管理(法定点検9台、車検10台、修繕、保険料等の支出)								
	R6年度 実施内容		R7年度 実施内容		R6年度比較増減要因		R8年度増減見込み		
計画額		前年増減額		前年比		財源内訳			
3,728,000		251,000		107.2%		国庫支出金 0 県支出金 13,000 地方債 0 その他 400,000 一般財源 3,315,000			
①消防団公用車の維持管理(法定点検10台、車検9台、修繕、保険料等の支出)		下期実施内容変更見込み		計画修繕(タイヤ交換・可搬ポンプ積載装置移設)の増を予定していることが増額要因である。		車検台数の増を予定していることから増額見込みである。			
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明									
災害時に迅速に対応するために、消防団ポンプ車の適切な維持管理が必要である。									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防総務課	担当係	重点事業							
R5	事業名	職員給与費(消防本部・常備消防費)【消防本部】											
総合計画	基本目標	79 特別職・職員給与の適正な管理執行を図る											
	政策	1 特別職・職員給与の適正な管理執行											
	施策	2 職員給与費											
	事業の目的	特別職・職員給与の適正な管理執行を図るため、職員給与費(消防本部・常備消防費)【消防本部】により、職員の給料、手当の支払いを適切に行う。		事業の概要									
事業の概要	勤務における給与や手当を集計し、振り込みによる給与支給を行う。												
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称							
		9	1	1	900000	職員給与費(消防本部・常備消防費)【消防本部】							
		R4年度	R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		26,802,000	27,413,000	611,000	102.3%		0	43,000	0	3,802,000	23,568,000		
		項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳							
		予算額	25,758,000	26,802,000	27,413,000	節	決算額	節	決算額				
		決算額	25,062,468	26,482,213	26,034,604	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0		
		不用額	695,532	319,787	1,378,396	02	給料	0	17	備品購入費	0		
		執行率	97.3%	98.8%	95.0%	03	職員手当等	26,034,604	18	負担金、補助及び交付金	0		
		財源内訳	国庫支出金	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0		
		県支出金	504,152	944,580	44,350	05	災害補償費	0	20	貸付金	0		
		地方債	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0			
		その他	5,818,770	4,145,360	4,501,050	07	報償費	0	22	償還金、利子及び割引料	0		
		一般財源	18,739,546	21,392,273	21,489,204	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0		
		前年比較	105.7% D	114.2% D	100.5% D	09	交際費	0	24	積立金	0		
		職員人件費	771,000	553,000	744,000	10	需用費	0	25	寄附金	0		
		総事業コスト	25,833,468	27,035,213	26,778,604	11	役務費	0	26	公課費	0		
		前年比較	110.8% D	104.7% D	99.1% B	12	委託料	0	27	繰出金	0		
		主財源	東名高速道路救急支弁金			3,560,300	13	使用料及び賃借料	0	予備費	0		
			危険物取扱許可手数料			900,250	14	工事請負費	0				
			火薬類消費許可手数料他			84,850	15	原材料費	0	合計	26,034,604		
	コスト分析	総事業コストは、前年度に比べ減額となった。主に、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行したことで、感染症対策に係る職員手当等の減に伴うものである。											
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度					
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
		成果1	式	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
		成果2	式	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	効率1	時間	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0			
	事業実施内容	①特殊勤務、休日勤務、夜間勤務等の職員手当の支出											
	CHECK評価	指標・実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 消防職員の手当の適正な管理執行に努め、災害に備えて消防力の強化を図り、市民を災害から守るという使命の下に、常に万全の体制を維持していくことが大切である。										
	CHECK評価	事業成果	①毎月の職員手当を適正に支出した。										
			効率的に適正かつ確実な処理を行う必要がある。										
事業課題													
事業成果													
CHECK評価		事業課題	各評価結果										
			総合判定評価								B		事業の進め方の改善の検討
			事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						
			一般財源	成果	1	B	評価視点		評価内容				
			100.5%	D	2		効率性	4:高い	A	現状維持			
			総事業コスト	効率	1	B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」		R7年度の方向性		
99.1%	B			必要性	4:高い	コスト 縮小↓ 成果 維持→		①事業の進め方					
担当評価	職員給与の計算は、短時間での適正な処理が求められているため、常に職員二人によるダブルチェックを行い適正に処理することができた。												
CHECK評価	CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
		1ヶ月分をまとめて行うのではなく、複数回に分けて、手当の計算処理を実施することで、更に確実及び効果的な事務処理とする。											
		ACTION改善											
		加える変化											
	CHECK評価	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称						
			9	1	1	900000	職員給与費(消防本部・常備消防費)【消防本部】						
			予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
			28,328,000	915,000	103.3%		0	53,000	0	4,845,000	23,430,000		
			・職員手当を支給										
			下期実施内容変更見込み										
CHECK評価	実施内容	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		28,103,000	△ 225,000	99.2%		0	80,000	0	3,747,000	24,276,000			
CHECK評価	実施内容	・職員手当を支給											
		R6年度比較増減要因	令和6年度と同額程度を見込んでいる。										
CHECK評価	実施内容	R8年度増減見込み	令和6年度と同額程度を見込んでいる。										
		事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 消防職員の手当の適正な管理執行に努め、災害に備えて消防力の強化を図り、市民を災害から守るという使命の下に、常に万全の体制を維持していくことが大切である。											

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業		
R5	事業名	広域消防通信整備事業						
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち						
	政策	3 消防力を高めるまちづくり						
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります						
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、広域消防通信整備事業により、中東遠消防指令センター指令システムの全面更新を実施し、指令や情報伝達における精度と迅速性を向上する。		事業の概要 指令業務における正確かつ迅速性の向上を図ることを目的として、中東遠消防指令センターに係る指令システムの全面更新を実施する。				
事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称				
		9 1 3	600000	広域消防通信整備事業				
		R4年度	R5年度	前年増減	前年比	財源内訳		
		0	12,033,000	12,033,000		国庫支出金 0 県支出金 0 地方債 900,000 その他 0 一般財源 11,133,000		
		項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳		
		予算額	0	0	12,033,000	節 決算額 節 決算額		
		決算額	0	0	10,036,553	01 報酬 0 16 公有財産購入費 0		
		不用額	0	0	1,996,447	02 給料 0 17 備品購入費 0		
		執行率			83.4%	03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 10,036,553		
		財源内訳	国庫支出金	0	0	04 共済費 0 19 扶助費 0		
		県支出金	0	0	05 災害補償費 0 20 貸付金 0			
		地方債	0	0	900,000 06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0			
		その他	0	0	0 07 報償費 0 22 償還金、料子及び割引料 0			
		一般財源	0	0	9,136,553 08 旅費 0 23 投資及び出資金 0			
		前年比較	100.0% C	100.0% C	— D	09 交際費 0 24 積立金 0		
		職員人件費	0	0	798,000	10 需用費 0 25 寄附金 0		
		総事業コスト	0	0	10,834,553	11 役務費 0 26 公課費 0		
		前年比較	100.0% C	100.0% C	— D	12 委託料 0 27 繰出金 0		
	主財源	脱炭素化推進事業債			500,000	13 使用料及び賃借料 0 予備費 0		
		緊急防災・減災事業債			400,000	14 工事請負費 0		
						15 原材料費 0 合計 10,036,553		
	コスト分析	総事業コストは前年に比べ増額となった。主に、中東遠消防センター消防指令システム全更新による負担金、補助及び交付金の増に伴うものである。						
指標・実施内容	事業指標・評価	事業指標・評価		R3年度	R4年度	R5年度		
		指標名	単位	現状値 年度	目標値 年度	実績値 年度	実績値 年度	
		成果1	中東遠消防指令センターの指令システム全更新に係る負担金	回	1.0 年度	1.0 年度	0.0 年度	0.0 年度
				5	7			
		成果2		0.0 年度	0.0 年度	0.0 年度	0.0 年度	
				0	0			
		効率1		0.0 年度	0.0 年度	0.0 年度	0.0 年度	
				0	0			
		事業実施内容	①高機能消防指令システム全更新に係る作業部会及び分科会への参加 ②全更新に係る負担金の支出					
	CHECK評価	事業成果	①消防指令システム全更新に係る作業部会(5回)及び分科会(47回)へ参加するとともに、契約調整を実施し、機器承諾書を承諾した。 ②負担金の支出により、消防指令センター庁舎の改修を行い、令和6年度の消防指令システム全更新事業に繋がることができた。					
事業課題		消防指令システム運用開始までに、職員が早期に機器の取り扱い方法を習熟できるよう取扱説明及び訓練を実施する必要がある。また、消防指令システム関連機器は、消防本部だけでなく災害対策室、菊川病院に整備する為、機器搬入の日程調整など必要である。						
各評価結果		事業コスト評価				総合判定評価		
		一般財源	指標評価	事業内容評価	B	事業の進め方の改善の検討		
		— D	成果 1 B	評価視点				
		総事業コスト	効率 1	評価内容				
		— D		効率性 4:高い	A	現状維持		
				必要性 4:高い		R7年度の方向性		
						コスト 縮小! 成果 維持→		
						改善 ①事業の進め方		
	担当評価	前年度までに完成した仕様書の内容に沿った消防指令システムの機器調達及び細かな運用の確認により、年度内に必要な作業を完了することができた。						
CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 整備された機器を早期に習熟できるように取扱い説明会及び訓練を計画するとともに機器搬入の調整など円滑な更新を行っていく。						
	実施内容	款 項 目	事業番号	事業名称				
		9 1 3	600000	広域消防通信整備事業				
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源		
		211,071,000	199,038,000	1754.1%		0 10,000,000 200,700,000 0 371,000		
		・指令システム全更新 ・評価契約支援及び構築監理業務委託				下期実施内容変更見込み		
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源		
		0	△ 211,071,000	0.0%		0 0 0 0 0		
		・消防指令システム全更新に伴う新システムによる運用開始				R6年度比較増減要因 令和6年度に消防指令システム全更新が完了を予定していることが減額要因である。		
		R7年度				R8年度増減見込み 災害対策本部の移設に併せて機器の移設が必要なことから増額見込みである。		
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明							

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業								
R5	事業名	消防自動車等整備事業						事業成果 ①導入から18年が経過し、老朽化した消防団ポンプ自動車を更新し、災害現場における迅速で確実な活動を維持することができた。 ②資機材搬送車については、半導体部品の供給不足により車両の生産が遅れ、年度内の納車が不可能となり、予算を次年度に繰り越した。	事業課題 複雑多様化する火災、救急、救助等の災害出動に備え、計画的な車両更新が必要であるが、社会情勢により部品の供給が不足し、車両の納期が長期化している。					
総合計画 体系・概要	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち												
	政策	3 消防力を高めるまちづくり												
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります												
事業の目的 消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、消防自動車等整備事業により、緊急車両等を計画的かつ適切に更新する。		事業の概要 各種災害への出動に対し、確実な災害対応を行うため、緊急車両等の更新及び整備を実施する。												
事業コスト分析 決算(円)							CHECK評価 各評価結果	総合判定評価 A 計画どおりに事業を進めることが適当						
款 項 目 9 1 3	事業番号 200000	事業名称 消防自動車等整備事業費												
R4年度 37,330,000	R5年度 35,172,000	前年増減 △ 2,158,000	前年比 94.2%	財源内訳 国庫支出金 0 県支出金 7,296,000 地方債 26,800,000 その他 0 一般財源 1,076,000										
決算(円)							CHECK評価 加える変化	AC T I O N 改善 課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 車両更新については、常に情報を収集し社会情勢を考慮した上で早期の予算執行を行っていく。						
項目 予算額 決算額 不用額 執行率	R3年度 122,706,000 122,700,920 5,080 100.0%	R4年度 37,330,000 37,326,399 3,601 100.0%	R5年度 35,172,000 23,018,242 12,153,758 65.4%	事業費内訳										
国庫支出金 0	県支出金 20,251,000	地方債 95,400,000	その他 0	一般財源 7,049,920	前年比較 1237.5% D 24.5% A 36.0% A	職員人件費 857,000	総事業コスト 123,557,920	前年比較 647.1% D 31.1% A 61.6% A	主財源 緊急防災・減災事業債 15,100,000 地震・津波対策等減災交付金(審査会事業) 7,296,000	01 報酬 0 02 給料 837,000 03 職員手当等 0 04 共済費 0 05 災害補償費 0 06 恩給及び退職年金 0 07 報償費 0 08 旅費 0 09 交際費 0 10 需用費 47,244 11 役務費 17,890 12 委託料 0 13 使用料及び賃借料 185,108 14 工事請負費 0 15 原材料費 0 合計 23,018,242				
総事業コストは前年に比べ減額となった。 主に、資機材搬送車が半導体不足の影響により年度内の納車が見込めず、令和6年度への繰越明許となったことによる備品購入費等の減に伴うものである。							PLAN 実行計画事業(円)	R6年度 実施内容 ・消防団ポンプ自動車の更新整備 ・資機材搬送車(菊川71)の更新整備 ・消防団ポンプ自動車の売却 ・資機材搬送車(菊川71)の売却 下期実施内容変更見込み						
コスト分析									款 項 目 9 1 3	事業番号 200000	事業名称 消防自動車等整備事業費			
指標・実施内容							CHECK評価 実施内容	R7年度 実施内容 ・消防団ポンプ自動車の更新整備 ・消防自動車(菊川化学1)の更新整備 ・消防団ポンプ自動車の売却 R6年度比較増減要因 消防自動車(菊川化学1)の更新整備を予定していることが増額要因である。 R8年度増減見込み 消防自動車(菊川タンク1)の更新整備を予定しているが、菊川化学1に比べると更新費用が少ないことから減額を見込みである。						
事業実施内容 ①消防団ポンプ自動車の更新整備 ②資機材搬送車の更新整備に係る契約									計画額 107,373,000	前年増減額 82,520,000	前年比 432.0%	財源内訳 国庫支出金 0 県支出金 10,000,000 地方債 86,300,000 その他 0 一般財源 11,073,000		
指標・実施内容							事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 複雑多様化する災害から、市民の生命、身体及び財産を守るために必要な事業である。							

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業			
R5	事業名	消防施設等整備事業							
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち							
	政策	3 消防力を高めるまちづくり							
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります							
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、消防施設等整備事業により、消防水利や消防資機材を適切に維持管理し、計画的に更新する。		事業の概要 防火水槽の維持管理、消火栓の設置及び移設並びに消防水利の修繕を行うとともに、大規模災害に活用する資機材を整備をする。					
事業成果	①備品購入：(2,187,944円) チェーンソー、救命ボード、発電機等 ②消耗品購入(232,320円) 感染防止衣上下、N95マスク ③防火水槽、消火栓の点検1,071箇所、修繕9箇所実施 ④消火栓の布設替え1箇所、新設1箇所実施								
事業課題	・消防水利は計画的な修繕だけでなく、必要に応じて緊急修繕を行うなど、適切に維持管理することが必要である。 ・令和6年能登半島地震への派遣結果を踏まえ、必要資機材の整備について見直しが必要である。								
事業コスト分析	事業コスト評価	各評価結果 事業コスト評価 一般財源 249.6% D 総事業コスト 138.0% D				指標評価 1 B 2 1 B	事業内容評価 評価視点 効率性 4:高い 有効性 4:高い 必要性 4:高い	評価内容 A 現状維持 計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」	総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討 R7年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方
	担当評価	資機材の更新整備や、消防水利(防火水槽及び消火栓)の修繕を実施したことにより、消防力の維持強化につながった。							
CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 毎年実施する水利点検を早期に実施し、修繕箇所を把握して適切な対応を図るとともに、大規模災害用資機材の整備について、改めて検討を行う。							
	実行計画事業	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 市民の生命、身体及び財産を守るために、災害時に必要な資機材の更新や消防水利の維持管理は必要な事業である。							
予算	款 項 目	事業番号	事業名称						
	9 1 3	100000	消防施設等整備事業費						
	R4年度	R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源			
	5,255,000	6,583,000	1,328,000	125.3%		0 1,000,000 0 0 5,583,000			
決算	項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳				
	予算額	5,484,000	5,255,000	6,583,000	節 決算額	節 決算額			
	決算額	5,466,022	5,229,662	6,162,975	01 報酬	0 16 公有財産購入費			
	不用額	17,978	25,338	420,025	02 給料	0 17 備品購入費 2,187,944			
	執行率	99.7%	99.5%	93.6%	03 職員手当等	0 18 負担金、補助及び交付金			
事業費内訳	国庫支出金	134,970	2,758,690	0	04 共済費	0 19 扶助費			
	県支出金	0	389,000	966,000	05 災害補償費	0 20 貸付金			
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0 21 補償、補填及び賠償金			
	その他	0	0	0	07 報償費	0 22 償還金、料子及び割引料			
	一般財源	5,331,052	2,081,972	5,196,975	08 旅費	0 23 投資及び出資金			
	前年比較	146.1% D	39.1% A	249.6% D	09 交際費	0 24 積立金			
	職員人件費	159,000	107,000	1,204,000	10 需用費	433,996 25 寄附金			
	総事業コスト	5,625,022	5,336,662	7,366,975	11 役務費	0 26 公課費			
	前年比較	133.7% D	94.9% B	138.0% D	12 委託料	0 27 繰出金 3,541,035			
	地震・津波対策等減災交付金			966,000	13 使用料及び賃借料	0 予備費			
					14 工事請負費	0			
					15 原材料費	0 合計 6,162,975			
	コスト分析	総事業コストは前年に比べ増額となった。 主に、消火栓修繕箇所増による繰出金の増に伴うものである。							
	指標・実施内容	事業指標・評価		R3年度	R4年度	R5年度			
		指標名	単位	現状値 年度	目標値 年度	目標値 実績値 達成率 評価	目標値 実績値 達成率 評価	目標値 実績値 達成率 評価	
成果1	防火水槽・消火栓の点検	回	1.0 1.0	1.0 1.0	100.0% B	100.0% B	100.0% B		
成果2			0.0 0.0	0.0 0.0					
効率1	防火水槽・消火栓点検の早期(上半期)実施	%	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0% B	100.0% B	100.0% B		
事業実施内容	①大規模災害及び緊急消防援助隊用資機材(備品)の購入(更新) ②感染症対策備蓄品(消耗品)の購入(更新) ③消防水利(防火水槽、消火栓)の点検及び修繕 ④消火栓の布設替え及び新設								
R6年度	実施内容	大規模災害及び緊急消防援助隊資機材の購入(更新) 消防水利点検(防火水槽、消火栓)及び点検結果に基づいた、修繕の実施 消火栓の布設替え				下期実施内容変更見込み			
R7年度	実施内容	計画額 7,733,000 前年増減額 1,853,000 前年比 131.5% 財源内訳 0 国庫支出金 0 県支出金 138,000 地方債 0 その他 0 一般財源 7,595,000				R6年度比較増減要因 消火栓の布設箇所の増を予定していることが増額要因である。 R8年度増減見込み 資機材整備数の減により減額見込みである。			

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業																																																																																																																																								
R5	事業名	貯水槽整備事業																																																																																																																																												
総合計画	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																																																																																																																												
	政策	3 消防力を高めるまちづくり																																																																																																																																												
	施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります																																																																																																																																												
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、貯水槽整備事業により、消防水利の基盤となる耐震性貯水槽を計画的に整備する。		事業の概要 大規模地震発生時にも水利の確保が可能となる耐震性貯水槽を整備する。																																																																																																																																										
事業コスト分析	事業成果	①耐震性防火水槽を2基整備(中内田地内、高橋地内)し、消防力の基盤強化を図った。																																																																																																																																												
	事業課題	耐震性防火水槽の整備を計画的に進めていく必要があるが、市街地化が進む地域での整備が困難な状況である。また、令和6年能登半島地震における課題として、防火水槽の耐震化が求められる。																																																																																																																																												
	各評価結果	事業コスト評価				総合判定評価																																																																																																																																								
	評価分析・総合判定評価	事業コスト評価		指標評価		事業内容評価																																																																																																																																								
		一般財源	58.8%	1	B	評価視点																																																																																																																																								
		総事業コスト	116.0%	1	1	評価内容																																																																																																																																								
	担当評価	高橋地内に耐震性防火水槽を整備、中内田地内の老朽化した非耐震性防火水槽を耐震性防火水槽に更新整備し、消防力を充実強化することができた。				A 計画どおりに事業を進めることが適当																																																																																																																																								
	CHECK評価	事業の目的	R7年度の方向性 コスト 維持→ 成果 維持→ ①事業の進め方																																																																																																																																											
		加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 今後も耐震性防火水槽の新設だけでなく、地震災害時における火災発生に備え、老朽化した非耐震性防火水槽の耐震化を計画的に進め、耐震化率を上げていく。																																																																																																																																											
		実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>400000</td> <td>貯水槽整備事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32,107,000</td> <td>7,660,000</td> <td>131.3%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>32,100,000</td> <td>0</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,940,000</td> <td>△167,000</td> <td>99.5%</td> <td></td> <td>0</td> <td>1,828,000</td> <td>19,700,000</td> <td>0</td> <td>10,412,000</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	9	1	3	400000	貯水槽整備事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32,107,000</td> <td>7,660,000</td> <td>131.3%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>32,100,000</td> <td>0</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	32,107,000	7,660,000	131.3%		0	0	32,100,000	0	7,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,940,000</td> <td>△167,000</td> <td>99.5%</td> <td></td> <td>0</td> <td>1,828,000</td> <td>19,700,000</td> <td>0</td> <td>10,412,000</td> </tr> </tbody> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	31,940,000	△167,000	99.5%		0	1,828,000	19,700,000	0	10,412,000																																																																															
款		項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																									
9		1	3	400000	貯水槽整備事業費																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32,107,000</td> <td>7,660,000</td> <td>131.3%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>32,100,000</td> <td>0</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	32,107,000	7,660,000	131.3%		0	0	32,100,000	0	7,000																																																																																																																								
予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																					
32,107,000		7,660,000	131.3%		0	0	32,100,000	0	7,000																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31,940,000</td> <td>△167,000</td> <td>99.5%</td> <td></td> <td>0</td> <td>1,828,000</td> <td>19,700,000</td> <td>0</td> <td>10,412,000</td> </tr> </tbody> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	31,940,000	△167,000	99.5%		0	1,828,000	19,700,000	0	10,412,000																																																																																																																								
計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																					
31,940,000	△167,000	99.5%		0	1,828,000	19,700,000	0	10,412,000																																																																																																																																						
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>0</td> <td>21,260,000</td> <td>24,447,000</td> <td>節</td> <td>決算額</td> <td>節</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>0</td> <td>21,259,900</td> <td>24,446,767</td> <td>01 報酬</td> <td>0</td> <td>16 公有財産購入費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不用額</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>233</td> <td>02 給料</td> <td>589,000</td> <td>17 備品購入費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td></td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>03 職員手当等</td> <td>0</td> <td>18 負担金、補助及び交付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>04 共済費</td> <td>0</td> <td>19 扶助費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>0</td> <td>1,828,000</td> <td>1,828,000</td> <td>05 災害補償費</td> <td>0</td> <td>20 貸付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>19,400,000</td> <td>22,600,000</td> <td>06 恩給及び退職年金</td> <td>0</td> <td>21 補償、補填及び賠償金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>07 報償費</td> <td>0</td> <td>22 償還金、利子及び割引料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>31,900</td> <td>18,767</td> <td>08 旅費</td> <td>0</td> <td>23 投資及び出資金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>0.0%</td> <td>A</td> <td>— D</td> <td>58.8%</td> <td>A</td> <td>09 交際費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>14,000</td> <td>1,223,000</td> <td>1,642,000</td> <td>10 需用費</td> <td>64,767</td> <td>25 寄附金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>14,000</td> <td>22,482,900</td> <td>26,088,767</td> <td>11 役務費</td> <td>0</td> <td>26 公課費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>0.1%</td> <td>A</td> <td>160592.1%</td> <td>D</td> <td>116.0%</td> <td>D</td> <td>12 委託料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>主財源</td> <td colspan="2">貯水槽整備事業債</td> <td>22,600,000</td> <td>13 使用料及び賃借料</td> <td>0</td> <td>予備費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地震・津波対策等減災交付金</td> <td colspan="2"></td> <td>1,828,000</td> <td>14 工事請負費</td> <td>23,793,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>15 原材料費</td> <td>0</td> <td>合計</td> <td>24,446,767</td> </tr> </tbody> </table>					項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳				予算額	0	21,260,000	24,447,000	節	決算額	節	決算額	決算額	0	21,259,900	24,446,767	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0	不用額	0	100	233	02 給料	589,000	17 備品購入費	0	執行率		100.0%	100.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0	県支出金	0	1,828,000	1,828,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0	地方債	0	19,400,000	22,600,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0	一般財源	0	31,900	18,767	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0	前年比較	0.0%	A	— D	58.8%	A	09 交際費	0	職員人件費	14,000	1,223,000	1,642,000	10 需用費	64,767	25 寄附金	0	総事業コスト	14,000	22,482,900	26,088,767	11 役務費	0	26 公課費	0	前年比較	0.1%	A	160592.1%	D	116.0%	D	12 委託料	0	主財源	貯水槽整備事業債		22,600,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0	地震・津波対策等減災交付金			1,828,000	14 工事請負費	23,793,000							15 原材料費	0	合計	24,446,767
項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳																																																																																																																																										
予算額	0	21,260,000	24,447,000	節	決算額	節	決算額																																																																																																																																							
決算額	0	21,259,900	24,446,767	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0																																																																																																																																							
不用額	0	100	233	02 給料	589,000	17 備品購入費	0																																																																																																																																							
執行率		100.0%	100.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0																																																																																																																																							
国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0																																																																																																																																							
県支出金	0	1,828,000	1,828,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0																																																																																																																																							
地方債	0	19,400,000	22,600,000	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0																																																																																																																																							
その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0																																																																																																																																							
一般財源	0	31,900	18,767	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0																																																																																																																																							
前年比較	0.0%	A	— D	58.8%	A	09 交際費	0																																																																																																																																							
職員人件費	14,000	1,223,000	1,642,000	10 需用費	64,767	25 寄附金	0																																																																																																																																							
総事業コスト	14,000	22,482,900	26,088,767	11 役務費	0	26 公課費	0																																																																																																																																							
前年比較	0.1%	A	160592.1%	D	116.0%	D	12 委託料	0																																																																																																																																						
主財源	貯水槽整備事業債		22,600,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0																																																																																																																																							
地震・津波対策等減災交付金			1,828,000	14 工事請負費	23,793,000																																																																																																																																									
				15 原材料費	0	合計	24,446,767																																																																																																																																							
コスト分析	総事業コストは前年に比べ増額となった。 主に、人件費及び材料費の高騰による工事請負費の増に伴うものである。。																																																																																																																																													
指標・実施内容	事業実施内容 ①耐震性防火水槽の整備																																																																																																																																													
指標・実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 地震に強い消防水利を確保し、迅速かつ的確な消火活動を実施するには、必要な事業である。																																																																																																																																													

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業			
R5	事業名	災害派遣対応事業費							
総合計画	基本目標	75 市民等の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指す							
	政策	1 市民等の安心・安全を守ります							
	施策	11 災害出動							
	事業の目的	地震等の大規模災害発生時において、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行うため、災害派遣対応事業により職員の身分を保障するとともに、災害活動体制を確保する。		緊急消防援助隊等の派遣時において、職員へ活動手当等を支払うとともに、災害現場で活用する資機材等を整備する。					
事業の概要									
事業成果	①消火隊6隊、後方支援隊7隊の計13隊39人の職員を派遣した。 ②備品購入(1,175,128円) 発電機、かんたんテント等								
事業課題	緊急消防援助隊の応援要請のかかる災害は、場所や季節に関係なく発生するため、場所や季節を考慮した資機材の導入について検討していく必要がある。								
各評価結果									
事業コスト評価			指標評価		事業内容評価				
決算前年比	一般財源	D	成果	1	評価視点	評価内容			
	総事業コスト		効率	1					
					効率性	4:高い			
					有効性	4:高い			
					必要性	4:高い			
総合判定評価									
B 事業の進め方の改善の検討						R7年度の方向性			
						コスト 縮小↓ 成果 維持→			
						改善 ①事業の進め方			
慣れない積雪の中での活動であったが、必要な資機材等を追加で整備し円滑な活動を実施することが出来た。									
課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性									
緊急消防援助隊は、災害発生直後において迅速な出動が求められることから、持出資機材を精査し、効率よく積載することで準備時間の短縮を図る。									
加える変化									
A C T I O N 改善									
事業コスト分析									
予算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称						
	9 1 1	1100000	災害派遣対応事業費【消防】						
	R4年度	R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源			
	0	3,562,000	3,562,000			0 0 0 0 3,562,000			
決算(円)	項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳				
	予算額	0	0	3,562,000	節	決算額	節	決算額	
	決算額	0	0	3,464,316	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0	
	不用額	0	0	97,684	02 給料	0	17 備品購入費	1,175,128	
	執行率			97.3%	03 職員手当等	1,191,106	18 負担金、補助及び交付金	0	
	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0	
	県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0	
	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	
	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0	
	一般財源	0	0	3,464,316	08 旅費	220,800	23 投資及び出資金	0	
	前年比較	100.0% C	100.0% C	— D	09 交際費	0	24 積立金	0	
	職員人件費	0	0	0	10 需用費	553,277	25 寄附金	0	
	総事業コスト	0	0	3,464,316	11 役務費	42,405	26 公課費	0	
	前年比較	100.0% C	100.0% C	— D	12 委託料	0	27 繰出金	0	
	主財源				13 使用料及び賃借料	281,600	予備費	0	
				14 工事請負費	0				
				15 原材料費	0	合計	3,464,316		
コスト分析	令和6年能登半島地震に緊急消防援助隊を派遣したことによる増額。派遣に関わる費用は令和6年度に国庫補助金として国から補助予定。								
事業指標・評価									
指標評価	指標名		単位	現状値	目標値	R3年度	R4年度	R5年度	
				年度	年度	目標値	実績値	目標値	実績値
	成果1	災害派遣時の食糧及び燃料、資機材等の整備		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業実施内容	①令和6年能登半島地震発生に緊急消防援助隊を派遣 ②派遣活動に必要な備品等の購入								
R6年度 実施内容									
R7年度 実施内容									
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明									

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	警防課	担当係	重点事業									
R5	事業名	常備消防通信管理事業										事業成果	事業課題	令和7年4月1日の運用開始を目指し事業を進めている中東遠消防指令センター指令システム全更新では、新機能が整備されるため、職員は早期に新機能を習熟する必要がある。また、令和7年度以降は保守費用の増額が見込まれる。	
	基本目標	75 市民等の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指す													
	政策	1 市民等の安心・安全を守ります													
	施策	12 情報連絡室業務													
総合計画	体系・概要	事業の目的	市民の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指すため、常備消防通信管理事業により、消防無線の維持管理及びその他の通信回線の維持と中東遠消防指令センターの適切な運営を行うことで、円滑な消防業務を運用する。								事業の概要	無線機器及び電話設備等の保守管理や維持管理を行い、災害に即時対応できる体制を確保する。			
		事業内容	①消防無線の保守点検実施及び通信機器の使用料の支出 ②無線機のバッテリー2台更新(202,400円) ③消防庁舎の電話交換機更新(2,310,000円) ④中東遠消防指令センター運営経費負担金を適切に支出するとともに、消防指令センター運営の円滑化を図り、災害に即時対応できる体制を確保した。												
事業コスト分析	予算(円)	款 項 目	事業番号		事業名称								事業内容評価	総合判定評価	A 計画どおりに事業を進めることが 適当
		9 1 1	100000		常備消防通信管理費										
		R4年度	R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
		25,229,000	25,707,000	478,000	101.9%		0	67,000	0	0	25,640,000				
	決算(円)	項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳					A C T I O N 改善	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 システム全更新で新たな機能が整備されるため、中東遠消防指令センターで開催される会議・研修等に積極的に参加し職員の習熟度を上げていく。また、災害に即時対応できる体制を確保するため指令システムをはじめ消防通信機器の維持管理を適切に行っていく。		
		予算額	29,375,000	25,229,000	25,707,000	節	決算額	節	決算額						
		決算額	28,562,187	24,337,574	23,951,329	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0						
		不用額	812,813	891,426	1,755,671	02 給料	0	17 備品購入費	202,400						
		執行率	97.2%	96.5%	93.2%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	18,366,865						
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0						
		県支出金	64,000	58,000	67,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0						
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0						
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0						
		一般財源	28,498,187	24,279,574	23,884,329	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0						
	前年比較	121.7%	D	85.2%	A	98.4%	B	09 交際費	0	24 積立金	0				
	主財源	職員人件費	309,000	902,000	329,000	10 需用費	39,600	25 寄附金	0						
		総事業コスト	28,871,187	25,239,574	24,280,329	11 役務費	857,104	26 公課費	0						
		前年比較	123.0%	D	87.4%	A	96.2%	B	12 委託料	2,175,360	27 繰出金	0			
		地震・津波対策等減災交付金			67,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0						
					14 工事請負費	2,310,000									
15 原材料費	0			合計	23,951,329										
総事業コストは前年に比べ減額となった。 主に負担金、補助及び交付金(中東遠消防指令センター運営経費負担金)の減に伴うものである。											実行計画事業(円)	R6年度 R7年度	R6年度比較増減要因 R8年度増減見込み		
事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度								R6年度比較増減要因 R8年度増減見込み	
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値					実績値
成果1	無線機の適切な維持管理	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0					1.0
成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					0.0
効率1	無線機用備品の早期購入	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					100.0
①消防無線の保守点検実施及び通信機器の使用料の支出 ②無線機のバッテリー更新 ③消防庁舎電話交換機更新 ④中東遠消防指令センターの運営経費負担金の支出															R6年度比較増減要因 R8年度増減見込み
事業実施内容															
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明															
災害に備えた無線機器・電話設備等の維持管理に努めて、消防力の強化を図り、市民を災害から守るという使命の下に、常に万全の体制を維持していくことが必要である。															
事業実施内容															
事業実施内容															
事業実施内容															
事業実施内容															
事業実施内容															
事業実施内容															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	予防課	担当係	重点事業																																																																																																																																																				
R5	事業名	予防事業(消防本部)																																																																																																																																																								
総合計画	体系・概要	基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち																																																																																																																																																								
	政策	1 防災力を高めるまちづくり																																																																																																																																																								
	施策	3 市民の防災意識の高揚を図ります																																																																																																																																																								
	事業の目的	市民の防災意識の高揚を図るため、予防事業(消防本部)により、住宅用火災警報器設置・維持管理の啓発や広報活動、防火イベントの開催のほか、立入査察や講習会を行い、事業所における防火・保安体制の充実を図る。		事業の概要																																																																																																																																																						
事業コスト分析	事業	街頭広報や防火イベントの開催により、市民の防災意識の高揚を図るとともに、事業所からの火災等の災害を未然に防ぐため、立入査察や講習会を行い、防火、保安体制を確保する。																																																																																																																																																								
	事業成果	①消防広報誌「きくしゅう119」を発行した。年間2回(10月、2月) ②火災予防に係るチラシ等を配布した。 配布状況(個別訪問(785軒)、DM(175軒)、各種イベント(2,134部)、住宅用火災警報器設置状況無作為調査時(53軒)) ③立入査察を実施した。防火対象物施設(221施設)、危険物施設(165施設) ④防火管理講習会を開催した。(修了者27名) ⑤危険物取扱者試験事前講習会を開催した。(受講者38名) ⑥わくわく消防体験プログラム開催、消防主催防火ポスターコンクール(小学5年生対象)開催、県主催防火ポスターコンクール(幼年消防クラブ員対象)への応募を実施した。 市内施設(小笠中央公民館、本庁1階ロビー、菊川文庫)で防火ポスター作品を掲示した。 ⑦防火対象物の消防同意(58件)、危険物施設の設置・変更許可(21件)を行った。																																																																																																																																																								
	事業課題	全国的に火災による死者数は、高齢者が占める割合が非常に高く、R5年度には菊川市管内でも高齢者世帯の火災による死者が発生したことから、高齢者世帯へ特化した住宅用火災警報器設置及び維持管理の呼び掛けが必要である。																																																																																																																																																								
	評価分析・総合判定評価	各評価結果			総合判定評価																																																																																																																																																					
	決算前年比	事業コスト評価	指標評価		事業内容評価																																																																																																																																																					
		一般財源	成果	1	B	評価視点	評価内容																																																																																																																																																			
		130.3% D	D	2		効率性	4:高い A 現状維持																																																																																																																																																			
	総事業コスト	効率	1	S	有効性	4:高い 計画の進捗と成果に近い状態⇔計画通り																																																																																																																																																				
	1149.2% D				必要性	4:高い																																																																																																																																																				
	担当評価	・住宅用火災警報器の設置・維持管理は非常に重要であり、全世代へ広報しているが、住宅用火災警報器の設置率を下けている要因は、法改正前に建てられた住宅で、高齢者世帯の設置が進まないことである。																																																																																																																																																								
事業実施内容	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 ・火災による死者数のうち、高齢者の死者数が大半を占めることから、高齢者世帯への絞った住宅用火災警報器の設置維持管理に係る広報活動等を実施する。 幅広い世代への広報も重要だが、高齢者世帯を対象とした設置推進活動を主に検討する。																																																																																																																																																								
	実行計画事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th>事業名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>400000</td> <td>予防事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,483,000</td> <td>△ 125,000</td> <td>92.2%</td> <td></td> <td>0</td> <td>13,000</td> <td>0</td> <td>154,000</td> <td>1,316,000</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼年消防クラブ、消防団と連携した街頭広報、消防広報誌の発行 ・戸別訪問指導による住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 ・消防体験型イベントや防火ポスターコンクールなどの開催 ・防火対象物、危険物施設への立入査察 ・防火対象物の消防同意、危険物施設の許認可事務 ・防火管理者資格取得講習会や菊川市危険物安全協会事務を通じた講習会の開催 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,601,000</td> <td>118,000</td> <td>108.0%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>112,000</td> <td>1,489,000</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼年消防クラブ、消防団と連携した街頭広報、消防広報誌の発行 ・戸別訪問指導による住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 ・消防体験型イベントや防火ポスターコンクールなどの開催 ・防火対象物、危険物施設への立入査察 ・防火対象物の消防同意、危険物施設の許認可事務 ・防火管理者資格取得講習会や菊川市危険物安全協会事務を通じた講習会の開催 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度比較増減要因 ・隔年で更新される防火啓発用の子ども向けDVDの更新及び庁舎外に設置する懸垂幕の更新による増額。 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・R7年度に防火啓発用子ども向けDVD及び懸垂幕の更新完了による減額。 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>消防関係法令に基づき行われる事業である。火災がもたらす被害は市民の生命を脅かし、また、社会的に与える影響も大きいことから、日頃から市民に対し火災予防に関する意識の高揚を図る必要があることから、今後も事業を継続していく必要がある。</p> </td> </tr> <tr> <td>コスト分析</td> <td colspan="5"> <p>総事業費は前年に比べ増額となった。 主にスモークマシンを1台購入したことによる備品購入費の増に伴うものである。</p> </td> </tr> <tr> <td>指標・実施内容</td> <td colspan="2">事業指標・評価</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">指標評価</td> <td>指標名</td> <td>単位</td> <td>現状値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td>実績値</td> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>住宅用火災警報器の設置率</td> <td>%</td> <td>66.0</td> <td>69.0</td> <td>69.0</td> <td>67.4</td> <td>70.0</td> <td>65.1</td> <td>71.0</td> <td>69.8</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業実施内容</td> <td>効率1</td> <td>広報1回あたりの平均世帯数</td> <td>世帯</td> <td>35.0</td> <td>36.0</td> <td>36.0</td> <td>67.0</td> <td>37.0</td> <td>98.9</td> <td>38.0</td> <td>92.6</td> </tr> <tr> <td colspan="11"> <ul style="list-style-type: none"> ①消防広報誌を発行した。 ②住宅用火災警報器の設置、維持管理、火災予防に係る広報を行った。 ③事業所への立入査察を実施した。 ④防火管理者育成のため、防火管理講習会を開催した。 ⑤危険物取扱者試験事前講習会を開催した。 ⑥幼少年へ向けた防火啓発活動を実施した。 ⑦防火対象物の消防同意、危険物施設の設置・変更許可を行った。 </td> </tr> </tbody> </table>					款	項	目	事業番号	事業名称	9	1	1	400000	予防事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,483,000</td> <td>△ 125,000</td> <td>92.2%</td> <td></td> <td>0</td> <td>13,000</td> <td>0</td> <td>154,000</td> <td>1,316,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	1,483,000	△ 125,000	92.2%		0	13,000	0	154,000	1,316,000	<ul style="list-style-type: none"> ・幼年消防クラブ、消防団と連携した街頭広報、消防広報誌の発行 ・戸別訪問指導による住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 ・消防体験型イベントや防火ポスターコンクールなどの開催 ・防火対象物、危険物施設への立入査察 ・防火対象物の消防同意、危険物施設の許認可事務 ・防火管理者資格取得講習会や菊川市危険物安全協会事務を通じた講習会の開催 					<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,601,000</td> <td>118,000</td> <td>108.0%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>112,000</td> <td>1,489,000</td> </tr> </tbody> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	1,601,000	118,000	108.0%		0	0	0	112,000	1,489,000	<ul style="list-style-type: none"> ・幼年消防クラブ、消防団と連携した街頭広報、消防広報誌の発行 ・戸別訪問指導による住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 ・消防体験型イベントや防火ポスターコンクールなどの開催 ・防火対象物、危険物施設への立入査察 ・防火対象物の消防同意、危険物施設の許認可事務 ・防火管理者資格取得講習会や菊川市危険物安全協会事務を通じた講習会の開催 					<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度比較増減要因 ・隔年で更新される防火啓発用の子ども向けDVDの更新及び庁舎外に設置する懸垂幕の更新による増額。 					<ul style="list-style-type: none"> ・R7年度に防火啓発用子ども向けDVD及び懸垂幕の更新完了による減額。 					<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>消防関係法令に基づき行われる事業である。火災がもたらす被害は市民の生命を脅かし、また、社会的に与える影響も大きいことから、日頃から市民に対し火災予防に関する意識の高揚を図る必要があることから、今後も事業を継続していく必要がある。</p>					コスト分析	<p>総事業費は前年に比べ増額となった。 主にスモークマシンを1台購入したことによる備品購入費の増に伴うものである。</p>					指標・実施内容	事業指標・評価		R3年度	R4年度	R5年度	指標評価	指標名	単位	現状値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	住宅用火災警報器の設置率	%	66.0	69.0	69.0	67.4	70.0	65.1	71.0	69.8	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	事業実施内容	効率1	広報1回あたりの平均世帯数	世帯	35.0	36.0	36.0	67.0	37.0	98.9	38.0	92.6	<ul style="list-style-type: none"> ①消防広報誌を発行した。 ②住宅用火災警報器の設置、維持管理、火災予防に係る広報を行った。 ③事業所への立入査察を実施した。 ④防火管理者育成のため、防火管理講習会を開催した。 ⑤危険物取扱者試験事前講習会を開催した。 ⑥幼少年へ向けた防火啓発活動を実施した。 ⑦防火対象物の消防同意、危険物施設の設置・変更許可を行った。 										
	款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																																					
	9	1	1	400000	予防事業費																																																																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,483,000</td> <td>△ 125,000</td> <td>92.2%</td> <td></td> <td>0</td> <td>13,000</td> <td>0</td> <td>154,000</td> <td>1,316,000</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	1,483,000	△ 125,000	92.2%		0	13,000	0	154,000	1,316,000																																																																																																																																			
	予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																	
	1,483,000	△ 125,000	92.2%		0	13,000	0	154,000	1,316,000																																																																																																																																																	
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼年消防クラブ、消防団と連携した街頭広報、消防広報誌の発行 ・戸別訪問指導による住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 ・消防体験型イベントや防火ポスターコンクールなどの開催 ・防火対象物、危険物施設への立入査察 ・防火対象物の消防同意、危険物施設の許認可事務 ・防火管理者資格取得講習会や菊川市危険物安全協会事務を通じた講習会の開催 																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計画額</th> <th>前年増減額</th> <th>前年比</th> <th>財源内訳</th> <th>国庫支出金</th> <th>県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,601,000</td> <td>118,000</td> <td>108.0%</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>112,000</td> <td>1,489,000</td> </tr> </tbody> </table>					計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	1,601,000	118,000	108.0%		0	0	0	112,000	1,489,000																																																																																																																																			
	計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																	
1,601,000	118,000	108.0%		0	0	0	112,000	1,489,000																																																																																																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・幼年消防クラブ、消防団と連携した街頭広報、消防広報誌の発行 ・戸別訪問指導による住宅用火災警報器の設置、維持管理の推進 ・消防体験型イベントや防火ポスターコンクールなどの開催 ・防火対象物、危険物施設への立入査察 ・防火対象物の消防同意、危険物施設の許認可事務 ・防火管理者資格取得講習会や菊川市危険物安全協会事務を通じた講習会の開催 																																																																																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度比較増減要因 ・隔年で更新される防火啓発用の子ども向けDVDの更新及び庁舎外に設置する懸垂幕の更新による増額。 																																																																																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> ・R7年度に防火啓発用子ども向けDVD及び懸垂幕の更新完了による減額。 																																																																																																																																																										
<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>消防関係法令に基づき行われる事業である。火災がもたらす被害は市民の生命を脅かし、また、社会的に与える影響も大きいことから、日頃から市民に対し火災予防に関する意識の高揚を図る必要があることから、今後も事業を継続していく必要がある。</p>																																																																																																																																																										
コスト分析	<p>総事業費は前年に比べ増額となった。 主にスモークマシンを1台購入したことによる備品購入費の増に伴うものである。</p>																																																																																																																																																									
指標・実施内容	事業指標・評価		R3年度	R4年度	R5年度																																																																																																																																																					
指標評価	指標名	単位	現状値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																																																																	
	成果1	住宅用火災警報器の設置率	%	66.0	69.0	69.0	67.4	70.0	65.1	71.0	69.8																																																																																																																																															
	成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																															
事業実施内容	効率1	広報1回あたりの平均世帯数	世帯	35.0	36.0	36.0	67.0	37.0	98.9	38.0	92.6																																																																																																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> ①消防広報誌を発行した。 ②住宅用火災警報器の設置、維持管理、火災予防に係る広報を行った。 ③事業所への立入査察を実施した。 ④防火管理者育成のため、防火管理講習会を開催した。 ⑤危険物取扱者試験事前講習会を開催した。 ⑥幼少年へ向けた防火啓発活動を実施した。 ⑦防火対象物の消防同意、危険物施設の設置・変更許可を行った。 																																																																																																																																																									

事業評価シート

総合計画	対象年度	R5	事業会計区分	一般会計	担当課	消防署	担当係	重点事業	事業	事業成果	事業課題	①新たに応急手当協力事業所として5事業所(メディカルケアサービス株式会社 愛の家グループホーム菊川、パーカーアサヒ株式会社 静岡工場、内外化成株式会社 小笠工場、医療法人社団晴和会 サービス付き高齢者向け住宅 さわだの家、センコー株式会社 静岡ハウス営業所)を認定した。 ②普通救命講習会(66回、697人)や救急一般講習会(35回、997人)を開催した。 ③普通救命講習会のうちe-ラーニングを活用した普通救命講習会(11回、104人)を開催した。	救命効果をより向上させるためには、バイスタンダーによる応急手当が必要不可欠であることから、応急手当の重要性について継続的に広報活動を行っていく必要がある。また、救命講習会へ参加しやすい環境を整備する必要がある。			
	事業名	救急講習等事業		基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち		政策	1 防災力を高めるまちづくり						施策	4 市民の防災活動への参加を推進します	
事業コスト分析	体系的概要	市民の防災活動への参加を推進するため、救急講習等事業により、救急講習会等を開催し、応急手当知識の普及と啓発する。					応急手当に関する正しい知識と技術の習得のため、救急講習を実施するとともに、応急手当の普及活動に積極的に取り組む事業所を推進する。					CHECK評価	事業コスト評価 一般財源 115.6% D 総事業コスト 70.2% A 効果 1 E 効率 1 E 評価視点 有効性 4:高い 必要性 4:高い 評価内容 生産性が低い⇐「効率がわるい」 R7年度の方向性 ①事業の進め方	各評価結果 事業内容評価 1 B 2 B 3 B 総合判定評価 B 事業の進め方の改善の検討 R7年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方		
	事業の目的	事業の概要					事業の概要									
CHECK評価	予算(円)	9	1	1	1000000	救急講習等事業費						決算前年比 70.2% A 効果 1 E 効率 1 E 評価視点 有効性 4:高い 必要性 4:高い 評価内容 生産性が低い⇐「効率がわるい」 R7年度の方向性 コスト 縮小↓ 成果 維持→ 改善 ①事業の進め方	加える変化 課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 街頭広報やSNSなどの広報活動により、応急手当の重要性や救命講習会への参加を呼び掛けていくとともに、e-ラーニングを活用した講習会の開催など、効率的な講習方法の研究に取り組んでいく。また、中学生以上から参加できる普通救命講習会に加え、親子で参加できる救命入門コースを開催する。			
	決算(円)	9	1	1	168,893	397,760	279,213	事業費内訳								
CHECK評価	事業内容	①応急手当協力事業所の認定 ②普通救命講習会及び救急一般講習会の開催 ③e-ラーニングを活用した普通救命講習会の開催											実行計画事業(円) 556,000 333,000 249.3% 0 0 0 0 556,000			
	コスト分析	総事業コストは前年に比べ減額となった。備品購入がなかったことから備品購入費の減に伴うものである。														
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R3年度		R4年度		R5年度		R6年度 R7年度	実施内容 ・講習用資機材の購入、維持及び管理 ・普通救命講習会等の開催 ・応急手当協力事業所の認定 ・救命入門コースの開催 R6年度比較増減要因 整備計画に基づく講習用備品の更新が増加要因である。 R8年度増減見込み 整備計画に基づく講習用備品の更新により、令和7年度と同程度となる見込みである。			
	事業実施内容	指標名 成果1 普通救命講習会(一般公募)の開催回数 成果2 効率1 1回当たりの講習会参加者数				単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値			実績値	目標値	実績値
	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	達成率			評価	達成率	評価
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 いざという時、誰もが応急手当をできるようにするため、応急手当の普及啓発は必要な事業であり、応急手当協力事業所の認定及び普通救命講習会の開催は欠かせないものである。															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防署	担当係	重点事業																																																																																																																																								
R5	事業名	消防救助活動事業																																																																																																																																												
総合計画	体系・概要	<p>基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち</p> <p>政策 3 消防力を高めるまちづくり</p> <p>施策 1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります</p> <p>消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、消防救助活動事業により、資機材を計画的に整備するとともに災害想定訓練を行い、職員の災害対応力を向上する。</p> <p>事業の概要 火災、救助等に必要な資機材の整備及び適切な維持管理を行うとともに、各種災害を想定した訓練を実施し、災害時における迅速かつ組織的な活動技術や能力を高める。</p>																																																																																																																																												
	事業の目的																																																																																																																																													
	事業内容																																																																																																																																													
	事業課題	<p>①備品及び消耗品の購入：(3,723,436円) 備品：化学防護服、空気呼吸器等、消耗品：救助ロープ等 ②保守点検の実施：(550,660円) 高圧空気充填機、空気呼吸器、クレーン等 ③救助隊員の基本技術・基礎体力が向上するとともにチームワークを高め、士気の高揚が図られた。(訓練時間：105時間) ④消防活動対応能力の向上が図られた。(訓練時間：439時間) ⑤救助活動対応能力の向上が図られた。(訓練時間：171時間) ⑥各種災害対応能力の向上及び連携強化が図られた。(訓練回数：12回、消防団：中継放水、県消防防災航空隊：散水、JR東海：線路内事故対応、菊川警察署：火災対応、災害救助犬：倒壊家屋検索等)</p> <p>・各種資機材の価格高騰に伴い、更新時期及び新規購入は検討が必要である。 ・複雑多様化する災害に的確に対応するために、基本的・応用的訓練を継続する必要がある。 ・大規模、特異災害に対応するために、関係機関と連携強化のため訓練を継続する必要がある。</p>																																																																																																																																												
事業成果																																																																																																																																														
事業課題																																																																																																																																														
CHECK評価																																																																																																																																														
<p>各評価結果</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">事業コスト評価</th> <th colspan="2">指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> <th colspan="3">総合判定評価</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">決算前年比</td> <td>一般財源</td> <td rowspan="3">D</td> <td rowspan="3">D</td> <td>1</td> <td>A</td> <td rowspan="2">評価視点</td> <td rowspan="2">評価内容</td> <td rowspan="3">B</td> <td colspan="3">事業の進め方の改善の検討</td> </tr> <tr> <td>168.6%</td> <td>D</td> <td>2</td> <td></td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> <td>A</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>D</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> <td>計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」</td> <td colspan="3">R7年度の方向性</td> </tr> <tr> <td>161.0%</td> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> <td></td> <td></td> <td>コスト</td> <td>縮小↓</td> <td>成果</td> <td>維持→</td> </tr> </table> <p>①事業の進め方改善</p>							事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価			決算前年比	一般財源	D	D	1	A	評価視点	評価内容	B	事業の進め方の改善の検討			168.6%	D	2		効率性	4:高い	A	現状維持	総事業コスト	D	1	B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」	R7年度の方向性			161.0%	D			必要性	4:高い			コスト	縮小↓	成果	維持→																																																																																			
事業コスト評価				指標評価		事業内容評価		総合判定評価																																																																																																																																						
決算前年比	一般財源	D	D	1	A	評価視点	評価内容	B	事業の進め方の改善の検討																																																																																																																																					
	168.6%			D	2					効率性	4:高い	A	現状維持																																																																																																																																	
	総事業コスト			D	1	B	有効性		4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」	R7年度の方向性																																																																																																																																			
161.0%	D			必要性	4:高い			コスト	縮小↓	成果	維持→																																																																																																																																			
<p>担当評価</p> <p>各種災害に対応するため、資機材の更新を実施すると共に充実した訓練を実施することによって消防力の向上が図られた。</p>																																																																																																																																														
<p>加える変化</p> <p>課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性</p> <p>実災害に即した効果的な訓練を継続し、知識・技術・能力の向上を図るとともに、大規模災害や特異災害に備えて、関係機関である消防団やドクターヘリ、県消防防災航空隊及び近隣消防本部等との合同訓練を実施していく。</p>																																																																																																																																														
<p>実行計画事業</p> <table border="1"> <tr> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業番号</th> <th colspan="3">事業名称</th> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>300000</td> <td colspan="3">消防救助活動事業費</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>予算額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>5,060,000</td> <td>432,000</td> <td>109.3%</td> <td></td> <td>0</td> <td>843,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,217,000</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材の整備 消防救助資機材の維持管理及び保守点検 火災や救助現場を想定した各種訓練等の実施 </td> <td colspan="6"> <p>下期実施内容変更見込み</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>計画額</td> <td>前年増減額</td> <td>前年比</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>5,152,000</td> <td>92,000</td> <td>101.8%</td> <td></td> <td>0</td> <td>530,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,622,000</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材の整備 消防救助資機材の維持管理及び保守点検 火災や救助現場を想定した各種訓練等の実施 </td> <td colspan="6"> <p>R6年度比較増減要因</p> <p>高圧充填機のオーバーホール、ガス検知器の更新予定に伴う増額。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材等の早期購入 </td> <td colspan="6"> <p>R8年度増減見込み</p> <p>高圧充填機のオーバーホールに伴う減額見込みである。</p> </td> </tr> </table>							款	項	目	事業番号	事業名称			9	1	1	300000	消防救助活動事業費							予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					5,060,000	432,000	109.3%		0	843,000	0	0	4,217,000					<ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材の整備 消防救助資機材の維持管理及び保守点検 火災や救助現場を想定した各種訓練等の実施 			<p>下期実施内容変更見込み</p>										計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					5,152,000	92,000	101.8%		0	530,000	0	0	4,622,000					<ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材の整備 消防救助資機材の維持管理及び保守点検 火災や救助現場を想定した各種訓練等の実施 			<p>R6年度比較増減要因</p> <p>高圧充填機のオーバーホール、ガス検知器の更新予定に伴う増額。</p>										<ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材等の早期購入 			<p>R8年度増減見込み</p> <p>高圧充填機のオーバーホールに伴う減額見込みである。</p>																																				
款	項	目	事業番号	事業名称																																																																																																																																										
9	1	1	300000	消防救助活動事業費																																																																																																																																										
				予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																		
				5,060,000	432,000	109.3%		0	843,000	0	0	4,217,000																																																																																																																																		
				<ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材の整備 消防救助資機材の維持管理及び保守点検 火災や救助現場を想定した各種訓練等の実施 			<p>下期実施内容変更見込み</p>																																																																																																																																							
				計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																		
				5,152,000	92,000	101.8%		0	530,000	0	0	4,622,000																																																																																																																																		
				<ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材の整備 消防救助資機材の維持管理及び保守点検 火災や救助現場を想定した各種訓練等の実施 			<p>R6年度比較増減要因</p> <p>高圧充填機のオーバーホール、ガス検知器の更新予定に伴う増額。</p>																																																																																																																																							
				<ul style="list-style-type: none"> 消防救助資機材等の早期購入 			<p>R8年度増減見込み</p> <p>高圧充填機のオーバーホールに伴う減額見込みである。</p>																																																																																																																																							
<p>事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明</p> <p>市民の生命、財産を災害から守り、災害発生時の被害を最小限に抑えるため、機能性、耐久性に優れた消防資機材の更新整備を行う必要がある。</p>																																																																																																																																														
<p>事業コスト分析</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th colspan="4">事業費内訳</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>4,077,000</td> <td>2,681,000</td> <td>4,628,000</td> <td>節</td> <td>決算額</td> <td>節</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>4,040,811</td> <td>2,637,511</td> <td>4,531,384</td> <td>01 報酬</td> <td>0</td> <td>16 公有財産購入費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不用額</td> <td>36,189</td> <td>43,489</td> <td>96,616</td> <td>02 給料</td> <td>0</td> <td>17 備品購入費</td> <td>3,298,130</td> </tr> <tr> <td>執行率</td> <td>99.1%</td> <td>98.4%</td> <td>97.9%</td> <td>03 職員手当等</td> <td>0</td> <td>18 負担金、補助及び交付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>1,062,050</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>04 共済費</td> <td>0</td> <td>19 扶助費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>402,000</td> <td>451,000</td> <td>845,000</td> <td>05 災害補償費</td> <td>0</td> <td>20 貸付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>06 恩給及び退職年金</td> <td>0</td> <td>21 補償、補填及び賠償金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>07 報償費</td> <td>0</td> <td>22 償還金、料子及び割引料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,576,761</td> <td>2,186,511</td> <td>3,686,384</td> <td>08 旅費</td> <td>0</td> <td>23 投資及び出資金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>92.1% B</td> <td>84.9% A</td> <td>168.6% D</td> <td>09 交際費</td> <td>0</td> <td>24 積立金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>職員人件費</td> <td>302,000</td> <td>231,000</td> <td>87,000</td> <td>10 需用費</td> <td>638,594</td> <td>25 寄附金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総事業コスト</td> <td>4,342,811</td> <td>2,868,511</td> <td>4,618,384</td> <td>11 役務費</td> <td>44,000</td> <td>26 公課費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>前年比較</td> <td>141.2% D</td> <td>66.1% A</td> <td>161.0% D</td> <td>12 委託料</td> <td>550,660</td> <td>27 繰出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>主財源</td> <td colspan="2">地震・津波対策等減災交付金</td> <td>845,000</td> <td>13 使用料及び賃借料</td> <td>0</td> <td>予備費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>14 工事請負費</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>15 原材料費</td> <td>0</td> <td>合計</td> <td>4,531,384</td> </tr> </table> <p>総事業コストは前年に比べ増額となった。 主に、救助ロープ等の消耗品購入数増による需用費の増及び空気呼吸器や空気ポンペ、消防ホース購入による備品購入費の増に伴うものである。</p>							項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳				予算額	4,077,000	2,681,000	4,628,000	節	決算額	節	決算額	決算額	4,040,811	2,637,511	4,531,384	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0	不用額	36,189	43,489	96,616	02 給料	0	17 備品購入費	3,298,130	執行率	99.1%	98.4%	97.9%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0	国庫支出金	1,062,050	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0	県支出金	402,000	451,000	845,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0	地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0	一般財源	2,576,761	2,186,511	3,686,384	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0	前年比較	92.1% B	84.9% A	168.6% D	09 交際費	0	24 積立金	0	職員人件費	302,000	231,000	87,000	10 需用費	638,594	25 寄附金	0	総事業コスト	4,342,811	2,868,511	4,618,384	11 役務費	44,000	26 公課費	0	前年比較	141.2% D	66.1% A	161.0% D	12 委託料	550,660	27 繰出金	0	主財源	地震・津波対策等減災交付金		845,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0					14 工事請負費	0							15 原材料費	0	合計	4,531,384
項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳																																																																																																																																										
予算額	4,077,000	2,681,000	4,628,000	節	決算額	節	決算額																																																																																																																																							
決算額	4,040,811	2,637,511	4,531,384	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0																																																																																																																																							
不用額	36,189	43,489	96,616	02 給料	0	17 備品購入費	3,298,130																																																																																																																																							
執行率	99.1%	98.4%	97.9%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0																																																																																																																																							
国庫支出金	1,062,050	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0																																																																																																																																							
県支出金	402,000	451,000	845,000	05 災害補償費	0	20 貸付金	0																																																																																																																																							
地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0																																																																																																																																							
その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、料子及び割引料	0																																																																																																																																							
一般財源	2,576,761	2,186,511	3,686,384	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0																																																																																																																																							
前年比較	92.1% B	84.9% A	168.6% D	09 交際費	0	24 積立金	0																																																																																																																																							
職員人件費	302,000	231,000	87,000	10 需用費	638,594	25 寄附金	0																																																																																																																																							
総事業コスト	4,342,811	2,868,511	4,618,384	11 役務費	44,000	26 公課費	0																																																																																																																																							
前年比較	141.2% D	66.1% A	161.0% D	12 委託料	550,660	27 繰出金	0																																																																																																																																							
主財源	地震・津波対策等減災交付金		845,000	13 使用料及び賃借料	0	予備費	0																																																																																																																																							
				14 工事請負費	0																																																																																																																																									
				15 原材料費	0	合計	4,531,384																																																																																																																																							
<p>指標・実施内容</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">事業指標・評価</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R5年度</th> </tr> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>成果1</td> <td>時間</td> <td>0.0</td> <td>1,200.0</td> <td>910.0</td> <td>866.0</td> <td>642.0</td> <td>840.0</td> </tr> <tr> <td>成果2</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>効率1</td> <td>%</td> <td>75.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>①消防業務に必要な備品及び消耗品の購入 ②消防救助資機材の保守点検実施 ③救助隊員の短期間基本訓練の実施(約2ヶ月間) ④消防訓練の実施 ⑤救助訓練の実施 ⑥大規模災害や特異災害への対応を目的とした他機関合同訓練の実施</p>							事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	成果1	時間	0.0	1,200.0	910.0	866.0	642.0	840.0	成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	効率1	%	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																																																																																
事業指標・評価		R3年度		R4年度		R5年度																																																																																																																																								
指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																																																																																																							
成果1	時間	0.0	1,200.0	910.0	866.0	642.0	840.0																																																																																																																																							
成果2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																																																																																																							
効率1	%	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																																																																																																																							

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防署	担当係	重点事業						
R5	事業名	救急活動事業										
総合計画	体系・概要	基本目標	4 快適な環境で安心して暮らせるまち									
		政策	3 消防力を高めるまちづくり									
		施策	1 消防施設・設備・体制の充実強化を図ります									
	事業の目的	消防施設・設備・体制の充実強化を図るため、救急活動事業により、資機材を計画的に整備するとともに救急想定訓練を行い、職員の災害対応力を向上する。	事業の概要	救急活動に必要な資機材の整備及び適切な維持管理を行うとともに、救急現場を想定した各種訓練を実施し、隊員の技術、能力、知識を高める。								
事業コスト分析	決算(円)	款 項 目	事業番号	事業名称								
		9 1 1	200000	救急活動事業費								
		R4年度	R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		3,418,000	3,458,000	40,000	101.2%		0	272,000	0	0	3,186,000	
		項目	R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳						
		予算額	3,018,000	3,418,000	3,458,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	2,943,432	3,344,657	3,303,628	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0	
		不用額	74,568	73,343	154,372	02	給料	0	17	備品購入費	0	
		執行率	97.5%	97.9%	95.5%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	0	
		財源内訳	国庫支出金	478,115	686,672	0	04	共済費	0	19	扶助費	0
	県支出金	68,000	138,600	259,000	05	災害補償費	0	20	貸付金	0		
	地方債	0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0		
	その他	0	0	0	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0		
	一般財源	2,397,317	2,519,385	3,044,628	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0		
	前年比較	116.5%	D	105.1%	D	120.8%	D	09	交際費	0		
	職員人件費	0	0	0	10	需用費	2,208,443	25	寄附金	0		
	総事業コスト	2,943,432	3,344,657	3,303,628	11	役務費	383,837	26	公課費	0		
	前年比較	135.6%	D	113.6%	D	98.8%	B	12	委託料	711,348		
	主財源	地震・津波対策等減災交付金		259,000	13	使用料及び賃借料	0		予備費	0		
					14	工事請負費	0					
					15	原材料費	0	合計		3,303,628		
	コスト分析	総事業コストは前年に比べ減額となった。主に、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行したことで、感染対策に掛かる消耗品費、廃棄物引取手数料及び手数料の減に伴うものである。										
CHECK評価	指標・実施内容	事業指標・評価			R3年度		R4年度		R5年度			
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	訓練実施時間	時間	1,477.0	1,200.0	566.0	635.5	564.0	636.0	564.0	539.5
					1	7	112.3%	A	112.8%	A	95.7%	B
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
					0	0						
		効率1	救急資機材等の早期購入	%	100.0	100.0	90.0	100.0	90.0	100.0	90.0	100.0
					1	7	111.1%	A	111.1%	A	111.1%	A
			事業実施内容	①救急業務に必要な消耗品の購入 ②救急資器材の保守点検の実施 ③救急医療廃棄物の管理(廃棄) ④救急資器材取扱い訓練・救急現場を想定した訓練の実施								
			CHECK評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 多種多様化している救急事案への適切な対応や高度な救命処置を実施するため、救急訓練を継続し、知識、技術及び能力の維持向上を図っていく。また、より現場に即したシミュレーション訓練を実施するため救急訓練人形の更新や資器材の保守点検等を計画的に行っていく。								
CHECK評価	実施内容	款 項 目	事業番号	事業名称								
		9 1 1	200000	救急活動事業費								
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		6,769,000	3,311,000	195.7%		0	316,000	0	0	6,453,000		
		実施内容	・救急資器材の整備 ・救急資器材の維持管理及び保守点検 ・救急医療廃棄物の管理(廃棄) ・救急現場を想定した各種訓練等の実施 ・救急訓練用入形(備品)の購入									
		下期実施内容変更見込み										
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		4,517,000	△ 2,252,000	66.7%		0	2,000	0	0	4,515,000		
		実施内容	・救急資器材の整備 ・救急資器材の維持管理及び保守点検 ・救急医療廃棄物の管理(廃棄) ・救急現場を想定した各種訓練等の実施									
		R6年度比較増減要因	・備品の購入がないことが減額要因である。									
R8年度増減見込み	・令和7年度と同額程度となる見込みである。											
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	災害に対して迅速かつ的確な活動を行うため、救急活動訓練を実施するとともに救急資器材の整備と保守点検を実施し、資器材を維持管理することが必要である。										

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	消防署	担当係	重点事業	事業成果	事業課題																																																												
R5	事業名	公用車管理事業(消防本部)																																																																		
基本目標	75 市民等の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指す																																																																			
政策	1 市民等の安心・安全を守ります																																																																			
施策	14 受付、消防機材等の維持管理																																																																			
体系的概要	事業の目的	市民の生命、身体、財産の保護とともに、災害による被害の軽減を図り、安心・安全なまちづくりを目指すため、公用車管理事業(消防本部)により、消防本部で使用する公用車を適切に維持管理する。					事業の概要	各種災害に対応するため、緊急車両等の適切な維持管理を行う。																																																												
総合計画	<table border="1"> <tr> <th colspan="6">各評価結果</th> <th colspan="2">総合判定評価</th> </tr> <tr> <th colspan="2">事業コスト評価</th> <th colspan="2">指標評価</th> <th colspan="2">事業内容評価</th> <td rowspan="3">A</td> <td colspan="2" rowspan="3">計画どおりに事業を進めることが 適当</td> </tr> <tr> <th>一般財源</th> <th>結果</th> <th>1</th> <th>B</th> <th colspan="2">評価視点</th> <th colspan="2">評価内容</th> </tr> <tr> <td>92.7%</td> <td>B</td> <td>2</td> <td></td> <td>効率性</td> <td>4:高い</td> <td>A</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <th>総事業コスト</th> <th>効果率</th> <th>1</th> <th>D</th> <td>有効性</td> <td>4:高い</td> <td colspan="3">計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」</td> </tr> <tr> <td>98.1%</td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>必要性</td> <td>4:高い</td> <td colspan="3">R7年度の方向性</td> </tr> <tr> <td colspan="6">複雑多様化する災害出動に備え、公用車を常に適切に管理できた。</td> <td>コスト改善</td> <td>維持→</td> <td>成果維持→</td> </tr> </table>								各評価結果						総合判定評価		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価		A	計画どおりに事業を進めることが 適当		一般財源	結果	1	B	評価視点		評価内容		92.7%	B	2		効率性	4:高い	A	現状維持	総事業コスト	効果率	1	D	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」			98.1%	B			必要性	4:高い	R7年度の方向性			複雑多様化する災害出動に備え、公用車を常に適切に管理できた。						コスト改善	維持→	成果維持→
各評価結果						総合判定評価																																																														
事業コスト評価		指標評価		事業内容評価		A	計画どおりに事業を進めることが 適当																																																													
一般財源	結果	1	B	評価視点					評価内容																																																											
92.7%	B	2		効率性	4:高い				A	現状維持																																																										
総事業コスト	効果率	1	D	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」																																																														
98.1%	B			必要性	4:高い	R7年度の方向性																																																														
複雑多様化する災害出動に備え、公用車を常に適切に管理できた。						コスト改善	維持→	成果維持→																																																												
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称																																																														
		9	1	1	600000	公用車管理費(消防本部)																																																														
		R4年度		R5年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
		6,008,000		5,881,000	△ 127,000	97.9%		0	0	0	2,000,000	3,881,000																																																								
	決算(円)	項目		R3年度	R4年度	R5年度	事業費内訳																																																													
		予算額		4,873,000	6,008,000	5,881,000	節	決算額	節	決算額																																																										
		決算額		4,724,013	5,899,393	5,780,698	01	報酬	0	16	公有財産購入費	0																																																								
		不用額		148,987	108,607	100,302	02	給料	0	17	備品購入費	0																																																								
		執行率		96.9%	98.2%	98.3%	03	職員手当等	0	18	負担金、補助及び交付金	0																																																								
		国庫支出金		0	0	0	04	共済費	0	19	扶助費	0																																																								
		県支出金		23,212	25,937	0	05	災害補償費	0	20	貸付金	0																																																								
		地方債		0	0	0	06	恩給及び退職年金	0	21	補償、補填及び賠償金	0																																																								
		その他		0	1,659,999	1,876,450	07	報償費	0	22	償還金、料子及び割引料	0																																																								
		一般財源		4,700,801	4,213,457	3,904,248	08	旅費	0	23	投資及び出資金	0																																																								
		前年比較		151.3%	D	89.6%	A	92.7%	B	09	交際費	0																																																								
		職員人件費		59,000	64,000	67,000	10	需用費	5,082,140	25	寄附金	0																																																								
		総事業コスト		4,783,013	5,963,393	5,847,698	11	役務費	368,558	26	公課費	330,000																																																								
		前年比較		95.7%	B	124.7%	D	98.1%	B	12	委託料	0																																																								
		主財源		車両売払代金		1,536,000	13	使用料及び賃借料	0	27	繰出金	0																																																								
				燃料補償費		310,450	14	工事請負費	0																																																											
				車両売払収入		30,000	15	原材料費	0	合計	5,780,698																																																									
	コスト分析	総事業コストは、前年度に比べ減額となった。 主に車検対象台数減による需用費、公課費の減に伴うものである。 また、公有財産売却システムの使用料が事業間移動したことにより使用料及び賃借料は皆減となった。																																																																		
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R3年度		R4年度		R5年度																																																										
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値																																																								
		成果1		台	0.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0																																																								
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																																																								
		効率1			0.0	0.0	2,404.0	0.0	2,577.0	0.0	2,859.0	0.0																																																								
		事業実施内容			0	0	0.0%	D	0.0%	D	0.0%	D																																																								
		①公用車(緊急自動車12台、連絡車2台)の法定点検(車検6台)及び修繕 ②公用車の維持管理(燃料、オイル交換等) ③消防車両(旧救急車)の売却																																																																		
実施内容	R6年度	款		項	目	事業番号	事業名称																																																													
		9	1	1	600000	公用車管理費(消防本部)																																																														
		予算額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																									
		5,845,000		△ 36,000	99.4%		0	0	0	1,000,000	4,845,000																																																									
		・公用車(緊急自動車12台、連絡車2台)の法定点検(車検7台)及び修繕 ・公用車の維持管理(燃料、オイル交換等) ・消耗品の備品の購入 ・消防車両等の売却																																																																		
		下期実施内容変更見込み																																																																		
	R7年度	計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																									
		5,955,000		110,000	101.9%		0	1,000	0	0	5,954,000																																																									
		・公用車(緊急自動車12台、連絡車2台)の法定点検(車検7台)及び修繕 ・公用車の維持管理(燃料、オイル交換等)																																																																		
		R6年度比較増減要因 修繕(タイヤ、バッテリー交換等)増を計画していることが増額要因である。																																																																		
		R8年度増減見込み 修繕(タイヤ、バッテリー交換等)減を計画していることから減額を見込んでいる。																																																																		
	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 複雑多様化する災害に備え、常に適切な車両管理が必要である。																																																																			